

同志社大学
2013 年度 卒業論文

論題：中国福建省福清市の来日留学生の変化及び変化に対する影響要因
—2008, 2009 年と 2012, 2013 年の来日福清留学生に対するインタビュー調査を通じて—

社会学部社会学科
学籍番号:19101074
氏 名:薛 辰
指導教員:立木 茂雄

(本文の総字数:23,388 字)

要旨

論文タイトル: 中国福建省福清市の来日留学生の変化及び変化に対する影響要因
—2008, 2009 年と 2012, 2013 年の来日福清留学生に対するインタビュー調査を通じて—

学籍番号:19101074

氏名: 薛 辰

江戸時代から日本と関わりを持つ中国福建省福清市では、今でも毎年多くの福清人が日本に留学しに来る。日本の研究では留学生としての福清人を研究することが少なく、今を生きる福清留学生に対する調査も殆ど見当たらない。

本稿では、ある日本語学校の 2008, 2009 年と 2012, 2013 年の来日福清留学生 21 名に対するインタビュー調査を行った。両者を比較し、福清留学生の現状に対する理解を深め、そして来日した福清留学生の変化及び変化に対する影響要因を明らかにすることを目的としてきた。

その結果、2008, 2009 年に来日した福清留学生と 2012, 2013 年に来日した福清留学生との間では、自分から中国への仕送り額、勉強状況、日本に長くいる予定、中国での最終学歴という 4 つの点で変化があった。また、中国への仕送り額の変化と中国での最終学歴の変化に影響するものとして、東日本大震災、日本経済の悪化、中日関係の悪化という 3 つの要因が明らかになった。

キーワード: 福清, 留学生, 華僑

目次

はじめに.....	1
第1章 福清と日本.....	1
1.1 福清の概況	
(1) 地形, 気候, 行政	
(2) 「僑郷」と「発展モデル」としての福清	
1.2 歴史上福清と日本との交流	
(1) 近代以前	
(2) 近代以後	
第2章 福清人の来日.....	5
2.1 福清人の来日要因及び変化	
(1) 改革開放後の移民	
(2) 不法移民	
(3) 来日する人の変化	
2.2 留学生の生活形態	
(1) 浅野慎一の研究	
(2) 山下清海ほかの研究	
第3章 本研究の目的と方法.....	9
3.1 研究目的と意義	
3.2 研究方法	
(1) 調査対象	
(2) 調査方法	
第4章 第一回目のインタビュー調査の結果及び分析.....	12
4.1 2008, 2009年に来日した福清留学生	
4.2 2012, 2013年に来日した福清留学生	
4.3 福清留学生の変化	
4.4 第一回目のインタビュー調査の結果を受けて	
第5章 第二回目のインタビュー調査の結果及び分析.....	17
5.1 来日費用減少の要因	
5.2 来日費用の下落がもたらす福清留学生の変化	
5.3 学歴変化の要因	
(1) 日本語学校の先生に対するインタビュー	
(2) 学歴と勉強状況	
5.4 福清留学生の変化及び諸要因のモデル	

5.5 第二回目のインタビュー調査の結果を受けて

第6章 第三回目インタビュー調査の結果及び分析.....	24
6.1 来日福清留学生減少の要因の検証	
6.2 東日本大震災がもたらす影響	
6.3 学歴について	
6.4 結論	
おわりに.....	28
参考文献.....	29
附.....	31
表1 2008,2009年に来日する福清留学生に対する調査内容	
表2 2012,2013年に来日する福清留学生に対する調査内容	

はじめに

筆者は2008年4月に来日し、二年間日本語学校に通ってから、大学に入学した。日本語学校卒業後、筆者は日本語学校へ遊びに行った際、よく学校の先生から「今の学生はあなたの時と全然違う」と言われた。先生の話にずっと興味を持ち、大学卒論のテーマを決める時、筆者は、自分の来日した時の福清留学生と最近来日した福清留学生との違いは何かという問いに着目した。そして、どのような社会的要因で違いが生じたのかを明らかにしたい。

筆者の来日した時の福清留学生と最近来日した福清留学生との違いを明らかにするため、今回は、2008、2009年と2012、2013年に来日した福清留学生に対し、インタビュー調査を行うことにした。調査対象とした福清留学生は全部筆者と同じ日本語学校の卒業生あるいは在学学生である。この日本語学校は大阪市中心部に位置しており、1990年に開校し、2000年に中国福建省福清市内にて本学院専属の日本語学習塾を開設した。福清にある日本語学習塾は学生を募集し、大阪にあるこの日本語学校に留学させる。

そもそも、来日の福清留学生と中国他地域の留学生は同じ次元で語るものではないと筆者が考えるので、それは福清という中国の一つ地域の特殊性にある。そのため、本稿の第1章では、まず、福清という地域の概況、歴史上福清と日本との繋がりを紹介する。第2章では、中国の改革開放後福清人の来日および在日留学生の生活形態に関する研究を説明する。第3章では、本研究の目的及び方法を説明する。そして、第4章、第5章、第6章では、調査の結果として、2008、2009年の来日福清留学生と2012、2013年に来日した福清留学生との間の変化を説明し、そして変化を生んだ要因を考察する。

第1章 福清と日本

1.1 福清の概況

(1) 地形、気候、行政

福清の略称は「融」であり、福建省東南部沿海に位置している。1990年、福清は県から市(県レベルの市)に昇格した。福建省には9つの地級市(地域レベルの市)があるが、福建省の省都、福州市は地級市であり、福清市は福州市に属し、福州市の中の1つの県級市である(図1)。福清の市域総面積は2,430km²、そのうち、陸域が1,519km²、海域が911km²である。戸籍人口は125.2万人である(福清市人民政府ホームページ)。

そして、福清の地形について、山下清海・小木裕文・松村公明・張貴明・杜国慶(2010)は以下のように述べた。

福清の地形は西北部から東南部へ傾斜している。西北部は戴曇山脈の支脈に属し、市内最高峰古崖山尾(標高約1,000m)はここに位置する。地形は主に低山丘陵で、その間は狭い洪積・沖積平野になっている。東南部は台地と低い丘陵が広く分布し、沖積平野と海岸平野に融城・竜田・高山・東瀚などの主要な鎮が点在している。南部の竜高半島は福清湾と興化湾に突き出ている。海岸は小高い台地や岩石海岸になり、大小の港が存在し、沖合には大小100の島々が点在している。(山下ほか 2010:3)



図1 福建省における福清の位置

出典：(山下ほか 2010:4)

次に、福清市の行政分布について、山下ほか(2010)は続けて以下のように述べた。

福清は宋代初期には10の郷に区分され、元明清代は6隅が設置され、1946年に6鎮(玉融、東張、海口、漁溪、龍田、高山)と6郷(平化、崇孝、仁義、東瀚、光賢、江陰)に区分され、現在の郷鎮分布の骨格が形成された。1984年には21あった人民公社が廃止され、郷鎮に改められた。都市化の進展に伴い、2003年に市中心部に街道弁事処を1つ、その他すべての郷を鎮に昇格して、合計で20鎮の行政単位となった。さらに2005年に市中心部の音西・陽鎮・宏路の3つの鎮を廃止して、7つの街道弁事処を設置した。これによって福清の市街地面積は244.5km²になり、市街地人口は45.8万人となった。(山下ほか 2010:4)

また福清の気候を見ると、年平均気温が19.61℃、1月の平均気温が10.8℃、7月の平均気温が28.2℃である。福清はよく雨が降っており、雨季と乾期が分明であり、各季節の気候がはっきりとした特徴を持っている。特に、毎年7月から9月までの間に大きい台風が必ず何回も訪れてくる。それによって、この時期は災害が多発し、福清に大きいダメージを与えている(福清市人民政府ホームページ)。

(2) 〈僑郷〉と〈発展モデル〉としての福清

李国慶(2004)は福清市が〈僑郷〉と〈発展モデル〉という二つの特質を指摘する。まず、その〈僑郷〉性について紹介する。福清市は歴史的に有名な華僑の故郷である。1949年以前の華僑は73の国や地域で生活し、主として東南アジア諸国に集中しているとわかる。日本在住中国人の約39万人の中で、3万人は福建から来た人であり、その中でも福清からの来住者が最も多い。東京・神戸・京都・函館等の福建華僑懇親会のリーダーは全て福清人である。福清人は中国のユダヤ人と呼ばれ、ベンチャー精神を持ち、商売に長じている。彼らは長年の努力の結果、相当規模の経済的基盤を築き上げてきた。しかし、1949年以降から1970年代末期にかけて、正常なルールによる海外移民は中止された(李 2004)。

80年代の改革開放政策実施以降、再び多くの人々が海外移動をした。この時期以降海外に渡った人々は新華僑と呼ばれている。新華僑の最初の目的地は日本であった。80年代以降の2.5万人の新移民を含めて、日本にいる福清籍の中国人は3万人を超えている(李 2004)。しかし、山下ほか(2010)によれば、近年福清出身者が目指す国・地域は東南アジアや日本だけでなく、新たにアメリカ、カナダ、ヨーロッパ、アフリカ等へ向かうことが生じた。

そして、〈発展モデル〉としての福清市については、李によれば、80年代の末まで、福清市は農業中心の県であった。1990年末、福清市ははじめて外向型経済の発展を目指し、華僑資本の導入を切り口にして外資形資本を導入し、地元内部の資金投資と連動させる戦略を策定した。福清市は1987年から1998年までの12年間、600社の外資系企業を導入し、総資産は32億元に達し、そのうち華僑資本は80%を占めていたという(李 2004)。

一方、福清市の外資企業に大きい投資だけではなく、新華僑が自分の僑郷にもたらしたよい影響は他にもある。山下ほか(2010)によれば、新華僑が海外で稼いだ資金を自分の僑郷で住宅の新築などに使うことが多く、個人消費の刺激になる。また、新華僑が帰国後福清市で起業する者も多い(山下ほか 2010)。そして、福清市人民政府の推計によると、福清出身の新華僑からの海外送金は毎年200億元とされ、若年層の就職難や農村の労働力の過剰などの問題を軽減する役割を果たした(経済観察報 2007)。

1.2 歴史上福清と日本との交流

(1) 近代以前

福清は日本との交流は長い歴史を持つ。これについての説明は、小木裕文(2001)の言葉をそのまま借りれば、以下のようなものになる。

日本と福州、福清との関係を語るときは、江戸時代まで歴史を遡らなければならない。長崎の出島に設けられた唐人館には南京、浙江、泉州、福州、厦門などから、貿易商人などが来日していた。これ以外に、明朝の遺民、儒者、医者、僧侶、書家、画家、工芸職人などが長崎に渡ってきている。長崎にはすでに華僑社会の原型が作られていたといつてよい。推計では、元禄時代(1688-1703)には一万人の中国人が暮らしていたという。福州人の貿易商人で、篤志家として知られた魏之、同じく福清出身者では何高材が挙げられる。彼らはいずれも定住し、お寺、神社、橋などの建築に多額の寄付をしたという記録が残っている。仏教交流という面では、長崎には興福寺、福濟寺、崇福寺の唐寺があった。それぞれの歴代の住職の原籍を見ると、興福寺が浙江

杭州府、福済寺が福建泉州府、崇福寺が福建福州、興化、福清、長楽とされている。なかでも特記されるのは、福建省福清にある黄檗山萬福寺法席の隠元が来日し、幕府の援助を受けて宇治に臨済宗萬福寺を建立したことである。この黄檗宗が当時の禅宗に与えた影響は大きく、西日本の大名を中心とする武家階層のなかに帰依するものが多かった。隠元に伴ってやってきた高僧、文人、技術者が仏閣建築、仏像彫刻、書画、精進料理、医薬、造園、開墾、印刷などにも幅広い影響を与えた。江戸初期から中頃まで萬福寺の歴代住持は、ほとんどが福建から渡来した。そのため、伝統的な儀式作法、法式は中国大陸、台湾、東南アジアの中国系寺院で行なわれている仏教儀礼と共通している。現在は、在日華僑が信仰するお寺としても知られている。毎年10月中旬、普度勝会が行なわれ、全国から多数の華僑・華人が集まる。(小木 2001:83)

そして、江戸以後の交流について、小木は以下のように述べ続ける。

明治時期には福州人、福清人が船員として来日し、彼らが副業として布地の行商を行なったことが注目される。すでに、江戸期中期に福州の船員たちが当時絹織物の産地であった福州から私的にそれらの産物を長崎に持ち込んで、商いをしたとの指摘がなされている。明治・大正・昭和期の日本華僑の仕事は、貿易商や三把刀(料理、洋服仕立、理髪)が主なものであった。遅れて来日した福清人は長崎で先ず呉服行商(布地の移動小売販売)を行ない、その後、第二次世界大戦終了ごろまで、日本各地の町村で呉服行商を行っていた。最初は中国製の絹、緞子などを扱い、後に日本製の布地を扱うようになったという。インドネシアの福清華僑もジャワで布地の販売や生産で、富を築き現地へ定住していった例を見るまでもなく、この業種は海外で商いをする福清、福州出身者に受け継がれていったようである。都会を中心にする先来華僑とは違い、福清華僑は辺鄙な農村を苦勞しながら行商し、日本社会のなかに入り込んでいった。しかしながら、この生地に行商は不安定な職業であったため、少しの貯えができると、より安定した職業へと転業していった。(小木 2001:83-84)

(2) 近代以後

そして、近代になり、李(2004)によると、福清人の来日ピークが三回あったという。第1回目の来日ピークは1920年代ごろにあった。背景として、当時中華民国が成立してまもなくの頃であり、世の中はまだ不安定で、人々の生活は極めて貧困な状態に置かれていた上、海外へ行くことは今までのどの時代よりも簡単になっていたのである。それに対して、日本では当時経済が高騰成長し、海外からの安い労働力が非常に必要になっていた。中国と日本の事情を踏まえて、1921年から中国人労働者の来日が急増した(李 2004)。

福清人来日の第2ピークは、70年代から80年代にかけての頃であった。当時来日した人は日本人(残留婦人)の親戚関係をたどって合法的に入国したものが多かった。戦時中、多くの福清人は差別や虐待を免れるため福清市に帰った。その時に日本人配偶者や子供をつれて帰ったので、結果として福清市に多くの日本人「残留婦人」が現れた。1972年国交正常化以降、日本人(残留婦人)の身分が認められ、日本に帰国することが許された(李 2004)。

そして、第3回目のピークは1988年以降にあらわれた。この時期の福建人新移民の部分は

日本語学校就学の名義で来ている若い人である。中には偽装結婚で来ている者もいる(李 2004)。

以上述べたように、福清と日本とは歴史上密接かつ長い関係を持っていたので、それも福清という地域の特殊性を意味づけした。そもそも、1978年中国における改革開放政策の推進に伴い、中国から海外への出稼ぎや留学する人が急増する中、福清人がどのような要因で来日したのか、そして、来日した後日本語学校にいた時、主な留学生¹⁾の生活形態を第3章で紹介する。

第2章 福清人の来日

2.1 福清人の来日要因及び変化

(1) 改革開放後の移民

中国の改革開放後、海外渡航の緩和や経済活動のグローバル化によって、より多くの人々は海外に目を向けた。当時、中国はまた不安定で、先進国と比べて、また貧しい国であり、国民たちは極めてよい生活を送ることが出来なかった。改革開放政策の進展により、もちろん経済発展が著しいが、なお地域や個人の経済格差は存在している。福清においても、世界の華僑華人の投資や外国資本の進出により、経済が発展しているが、格差の存在ははっきりとする。比較的貧しい福清人たちはその格差を解消するために、外国に出稼ぎに行くことが一ついい手段になる。外国の行く先として、施雪琴(2000)によると、歴史と地理的な要因で、早年多くの福清人は東南アジアに集中していて、その中、特にインドネシアやシンガポール等が取り上げられる。80年代以後、日本、西ヨーロッパ、南太平洋地域のような経済発達した国に集中するという。

李(2004)の研究により、1988年以降の多くの福清移民は、蓄財のために日本に来ている。彼らの目的は「目を閉じて5、6年苦勞して、故郷で家を建て、結婚して、そして家の墓を造る」ことであるという。このような生活パターンを実現する人は多くいる。小木(2009)の日本からの出稼ぎから帰国した人に対する聞き取り調査によると、「帰国した多くの人が、四階建ての洋館風家屋に住み、部屋の中には最新の電化製品や家具を揃え、乗用車を所有する人もいた」(小木 2009:365)という。確かに、それを実現するため、日本で3K労働をする場合も多いが、得た収入はやはりはるかに出国のコストを超えていると言えよう。このような豊かな経済収入を憧れ、続々と福清人から日本に出稼ぎにやってくることの理由がわかる。そこで、山下らによれば、1980年代後半から90年代前半に来日した福清出身者の中、不法就労、不法残留、犯罪などが多く発生しているので、福建省出身者の日本への就学生ビザ申請の際、日本側の審査は中国の他地域よりも厳しいことがある(山下ほか 2010)。

上述のような経済的な要因で、多くの福清人が日本にやってくることについて、施(2000)も同じ見方である。施により、経済的なことは多くの福清人が海外へと移民する直接な要因であると分かる。一方、施の研究では、経済的な要因だけではなく、海外移民の歴史的な伝統が福清人の移民ブームに大きな役割を果たしていることが指摘される。数百年の歴史をかけて、福清人の足跡が世界中に散らばっていて、そして、華人の親情と郷情のある伝統により、福清人は自分の同郷の友人や親族などの海外移民をサポートすることが多い。そこで、福清人の〈移民鏈〉(移民の環)が形成される。施氏により、改革開放

後、この〈移民鏈〉は再び機能を発揮するようになってきた(施 2000).

その他、施(2000)の研究では、福清人の集団的な性格も移民の要因になっている。福清では痩せた土地が多く、福清人は昔から海を頼って生存してきたので、開放的な思想を持ち、海外で困難と闘い、積極的に冒険してコツコツと努力する精神を持っている(施 2000).

(2) 不法移民

移民という現象は福清社会にとって、経済的な発展の促進剤となり、そして、海外で稼いだ資金が福清に持ち込まれ、家族の生活の改善や消費行動に繋がっている。しかし、移民現象の中に不法移民という問題を無視してはいけない。不法移民は福清が海外での印象の悪化に繋がり、そして、福清人の合法的な移民に悪影響を与えている。不法移民の中に、施(2000)によれば、「合法出国、違法滞在」という方式の不法移民が多く、政府から今コントロールすることも難しいとわかる。

不法移民の要因について、施(2000)は1)経済的な理由で、人口貿易の高利益により、国際的な蛇頭集団の活動は止まらない、2)西方国の法律政策上の不備がある、3)3K労働は不法移民を必要とする、4)国の政府と政府との間の協力が足りない、以上の4つをあげている。

不法移民の要因について、施氏の研究に対して、王顕峰・周聿峨・阮征宇(2004)がさらに特定した福建省沿岸地方を対象として不法移民の要因を研究した。王ほか(2004)は福建省沿岸地方の不法移民の要因について、1)経済発展の格差が盲目的な海外密航を誘発する直接的原因となっている、2)歴史、移民の環や意識に加えて、沿岸地区の幹部の寛容性と誤った指導も密航活動を禁止できない要因になっている、3)世界各国の密航などの不法移民行為に対する罰則する法律が不一致で弱く、更にいわゆる人道的要素も福建の密航活動を誘引する外在的要因である、4)国際密航集団犯罪組織との連携が密航活動の更なる国際化と組織化を促し、密航活動を有効的に防ぐことが出来ない要因になっている、5)国際的な合法移民のルートが確立していないことが、密航ブームを誘発する現実の要因となっている、6)国際政治経済の重大事件も労働空間を作り出し、福建の不法移民活動を拡大させるようになっている、以上の6つをあげている。

前述のように、福清を含む福建沿岸地区の不法移民に関して、様々な要因が取り上げられる。しかし、以後中国政府は取締りを強化したため、密航は激減した。小木(2009)が2007年に福清を現地調査した結果、至る所にあった「密航は犯罪である」「密航に大打撃を与えよう」などというスローガンも消えている。

(3) 来日する人の変化

昔と比べて、今日密航という手段を用いて、来日する人は殆どいない。筆者が小さい頃では、たまに両親から同じ出身地の誰かがまた日本に密航したような情報が耳に入ったことがある。しかし、近年ではまったくそのような情報がなかった。その背景として、2008年1月に、福田内閣総理大臣(当時)の施政方針演説において、「留学生30万人計画」が提唱されたことを受け、同年7月には、文部科学省を始めとする関係省庁により、「留学生30万人計画」骨子が策定された。そして、その後「留学生及び就学生の受入れに関する提言」が法務大臣に報告された(留国管理局ホームページ)。この「留学生及び就学生の受入

れに関する提言」後ほどの実施はむしろ密航が少なくなり、そして、留学を通じての出国が増える原因だと言える。また、表1を見てみると、〈留学〉及び〈就学〉の在留資格からの不法残留者数も年々と減っている。

表1 「留学」及び「就学」の在留資格からの不法残留者数構成比の推移

区分	年月日	平成16年1月1日	平成17年1月1日	平成18年1月1日	平成19年1月1日	平成20年1月1日	平成21年1月1日
不法残留総数(人)		219,418	207,299	193,745	170,839	149,785	113,072
留学	人数	6,672	8,173	7,628	7,448	6,667	5,090
	構成比(%)	3	3.9	3.9	4.4	4.5	4.5
就学	人数	9,511	8,506	7,307	5,281	4,311	3,186
	構成比(%)	4.3	4.1	3.8	3.1	2.9	2.8

注：「平成20年度における出入国管理行政に係る主要な施策等」をもとに作成。

「留学生及び就学生の受入れに関する提言」の中では、教育機関における留学生枠の拡大に伴い、留学生の資格外活動いわゆるアルバイトの制限時間の拡大、留学生卒業後の就職支援、「留学」の在留期間の延長、留学生生活環境の改善等が挙げられる(留国管理局ホームページ)。このように制度が改善され、密航して出国という危険な手段より、安全かつ合法的な留学を通じて、日本に行くことが多くなる。中に、2010年7月から、外国人学生の資格外活動については、原則として1週28時間以内の包括的な許可を行うこととしたことで、留学生がある程度の収入を持つことが許可されるようになった。そのため、前述のように、「留学」及び「就学」の在留資格からの不法残留者数も年々と減っていることがわかる。

来日する手段だけではなく、その他の変化も現れた。趙(2000)によると、今日では専門技術者移民と高学歴層が増加したという。留学生だけではなく、研修生による滞在資格や技能の資格での来日も増えている。山下ほか(2010)によると、「福清の高山鎮には、日本語、英語などの外国語学校や留学斡旋会社が多く見られた。そして、2008年山下氏らが調査を行った時、以前に比べ、海外国用の調理師資格の養成の看板を掲げた学校が増加した。このような学校では、中国料理の調理師資格を学習させ、その資格で技能労働などのビザを習得し、海外国を斡旋する者である」(山下ほか 2010:12)。筆者は日本で同じく専門技術者移民が増加していると感じた。筆者は留学する間、いくつかの中華料理店でアルバイトする経験がある。アルバイトしていた店は確かに中国の斡旋会社を通じて、中国から調理資格を持つ調理師を日本に出国させ、自分の店で働かせることがある。このように日本側の需要も専門技術者移民の増加に繋がる。

そして、学歴においても、変化がある。李(2004)の研究では、「一世の一世の老華僑は学歴が低く、二世も学生時代が戦時中であつたため、勉強できなかった。三世になると学歴が高くなり、大学卒業者が多く出てきた」(李 2004:68)という。李は強調するのは新移民として日本にやってくる福清人の学歴が二極化しているという。それについて、李は以下のように述べる。

一方では、まじめに勉強して日本の大学や企業に就職した人がおり、学歴が徐々に高まっている。ごく僅かであるが、大学教授になった人もいる。他方では、

大半の人は蓄財を目的としており、日本では3K労働に従事し、高度技術を習得していない。そのため、帰国後、起業を起こす人や教育・文化活動に従事する人は少ない。(李 2004:68)

従って、来日する福清人の変化として、留学による出国の増加、専門技術者出国の増加、出国者学歴の高まりが見られる。本稿は福清の留学生を研究対象としているので、次の第3節では福清留学生あるいは中国人留学生の在日生活形態に関する今までの研究を紹介する。

2.2 留学生の生活形態

(1) 浅野慎一の研究

本節では、日本語学校に通っている中国人留学生に関する浅野慎一(1997)の研究を紹介する。まず、浅野が日本語学校の中国人留学生に対して指摘したのは、彼らの生活が昼の学校と夜のアルバイトに二分され、両方に深刻な問題があるという。学校側の問題は倒産に遭遇したり、営利主義の学校であったりするので、それに反発を感じる者がいた。そして、学校の授業は殆ど昼にあるので、学生たちのアルバイト時間は夜と休日になるしかない。アルバイト上の問題として、単純労働が多く、その職場には、低賃金・民族差別・賃金不払いなどのこともある(浅野 1997)。

次に、アルバイト先の矛盾や経済的不安定さは非常に深刻である。彼らは来日また短く、日本語が未熟であるので、高自給の職に就くことが難しく、日本語の問題で解雇されることもある。そこで、彼らの収入は生活費や学費を払うのにとっても足りない状態である。留学生の中に、大卒専門職出身者と高卒労働者出身者の生活には一定の差があると浅野氏が言う。大卒専門職出身者はアルバイト収入以外、保証人の援助があり、月収が高卒労働者出身者より高いという。そして、大卒専門職出身者は高卒労働者出身者より学習にもっと強い関心に向けていて、彼らの貯金ももっぱら学費の準備になる。それに対し、高卒労働者出身者の貯金は学費の準備だけではなく、困った時の用心の目的もある。大卒専門職出身者はアルバイトと日本語学習の両立、仕事のつまらなさ、来日前の待遇とのギャップに悩んでいることに対して、高卒労働者出身者は殆どないという(浅野 1997)。

浅野氏の調査により、「中国人就学生は、平日午前中、学校があるので、彼らの労働時間は、夜9時～朝5時まで8時間の深夜労働、又は、午後1時頃～夜11時頃である」(浅野 1997:157)ことが分かる。日本語学校にいる中国人留学生たちの労働時間の長さが一目瞭然である。

このように、浅野氏の研究により、日本語学校を通う中国人留学生の生活実態が分かる。学校とアルバイトは彼らの生活の一大部分となる。それは本研究のインタビュー調査の質問構成の作成に導きを与える。

(2) 山下清海ほかの研究

本節において、山下ほか(2010)が2007年8月と2008年12月に福清で日本渡航経験者に対する聞き取り調査をもとに、福清出身の留学生が日本での生活実態について紹介する。

山下ほかが調査対象とする福清出身者2人とも多くの借金をして来日、安いアパートに住

んでおり、最初は日本語学校を通っているが、途中で学校に行くことを断念し、日本に不法滞在しアルバイトすることに集中する。そして、2人ともあまり遊ぶ時間がなく、長時間のアルバイトをやっており、借金を返済するのだけではなく、帰国後の十分の生活費も稼がなければならない。最後は自ら入国管理局に自頭し、自費で帰国することになる(山下ほか 2010)。

そして、山下ほかは調査後以下のように分析した。

福清から来日した者は、日本語学校に通学しながら大学への進学を目指す、同時に収入を得るための長時間のアルバイトが必要不可欠であった。聞き取り調査によれば、午前中は日本語学校に通学し、午後はアルバイト先へ集団で移動して、深夜まで勤務するような生活が多かった。そのうちしだいにアルバイト主体の生活に変わっていき、彼らの多くは大学進学を断念し、そのままビザの有効期限が切れて不法残留に移行する傾向にあった。彼らには、日本での生活と共に、地元の留学斡旋業者に対する斡旋料など多額の費用を、親族・知人などから借り入れており、その借金返済、そして帰国後の生活に向けた貯蓄のために、早期に帰国することを希望しながらも、数年から10年に渡り日本に滞在することになった。(山下 2010:16)

このように、山下ほかの研究を通じて、福清留学生は日本での生活は学校よりアルバイトのほうに偏っていると分かる。彼ら日本での生活が借金に大きく左右され、自ら自分の生活方式を選べないことになっている。中にはまったく勉強したくない人がもちろんいるが、一方勉強したい人も勉強できない状況にある。そのため、彼らが日本に「留学する」という言葉遣いに違和感を抱くことがある。

第3章 本研究の目的と方法

3.1 研究目的と意義

これまで述べたように、福清留学生についての研究が少なく、しっかりとする今の福清留学生を理解するための資料が不足しているというのが現状である。李(2004)や小木(2009)の研究では、福清人の来日の主な目的が出稼ぎだという。現状はその通りかと疑問がある。そして、小木(2009)の研究では、インタビュー調査した福清人の数の限りがあり、そして全面的な聞き取りが実施されていない。山下ほか(2010)の研究では、来日した福清人に対して、日本での生活実態を全面的にインタビュー調査したが、対象者が来日した年が90年代前後であり、今の福清留学生の人たちの現状を表すことができない。

本研究では、これらの問題点を解決し、福清留学生の現状に対する理解を深め、そして近年来日した福清留学生の変化及び諸影響要因を明らかにすることを目的とする。具体的な改善点として、1)現在日本にいる21名福清留学生を対象にインタビュー調査を行うこと、2)対象者に様々な視点からインタビューしていくこと、3)対象者を簡単に比較するため、みんなに同じく日本語学校在学中の状況についてインタビューしていくこと、4)より深く調査するため、インタビューは一回限りではなく、数回を行うこと、などがあげられる。

本研究の目的を達成することによって、以下の意義があると考えられる。まず、来日す

る福清留學生が再び自分の留学目的、留學生生活を見直す有効な参考資料になるだろう。また、近年来日した福清留學生の変化を明らかにすることで、日本語学校もそれを参考に福清留學生に対する教育を柔軟に変化することができるだろう。さらに、変化を生む社会的な要因を明らかにすることで、日本社会、そして中国社会がともに福清留學生のことを見直す機会になればと考える。

3.2 研究方法

(1) 調査対象

調査対象者は全部で21名、内訳2008、2009年に来日した福清留學生が10名、2012、2013年に来日した福清留學生が11名である。前述したように、21名の福清留學生は全部同じ日本語学校の卒業生あるいは在校生である。2008年に来日した8名は筆者の日本語学校の同期であり、元々知り合いであった。2012、2013年に来日した13名は筆者が日本語学校の先生を通じて、紹介してもらったのである。

(2) 調査方法

本調査では、質的調査いわゆるインタビュー調査を行った。甲南大学文学部社会学科・社会調査工房オンラインによると、質的調査のメリットは1)少数の被調査者の体験をインテンシヴ（集中的かつ徹底的）に探究することによって調査者がその体験を追体験して、その体験や事象の深層まで理解することが可能であること、2)形式的かつ画一的な、通り一遍の質問や限定された回答の選択肢を用いてのアンケート調査ではなしに、調査対象となっている事象や事実の多くの側面を多元的に、そして全体関連的に把握することが可能であること、3)調査者の主観的かつ価値判断的な認識や洞察力をとおして事象のより根源的な把握がなされ、ときに平坦で平凡な分析になりがちな事象の分析をより洞察的かつ普遍的に一般化することが可能であること、4)時間を遡って順を追って質問することができるため、事象の移り変わりなど12変化のプロセスと変化の因果関係をダイナミックに把握することが可能である、以上の4つがある。

以上のような質的調査のメリットを踏まえて、21名の調査対象者に対して、より深く対象者のことを理解し、信頼度の高い仮説を作るため、本研究では一回限りのインタビュー調査を行うのではなく、三回をわたり2008、2009年に来日した福清留學生と2012、2013年に来日した福清留學生に対して、インタビュー調査を行うことにする。インタビューを行う際は、全て中国語を使っており、内容を整理する時、日本語に翻訳する手順をとる。具体的な調査方法として、まず、第一回目のインタビュー調査では、2008、2009年に来日した福清留學生と2012、2013年に来日した福清留學生の変化を明らかにすることを目的とするため、2008、2009年に来日した福清留學生と2012、2013年に来日した福清留學生に対して、以下表2、表3のような質問をしていく。

表2 2008, 2009年に来日した福清留学生に対する第一回目調査の質問項目

NO	質問項目
1	性別
2	生まれ年
3	いつ来日
4	中国での最終学歴
5	留学理由
6	なぜ日本を選んだ
7	なぜ大阪を選んだ
8	どんなアルバイトをしている
9	一ヶ月収入
10	一ヶ月支出
11	自分から中国への仕送り状況
12	来日費用(事前払った学費含み、最初に持ちきた生活費用を含まない)
13	両親の意思について
14	自分の勉強状況について
15	自分の将来について

表3 2012, 2013年に来日した福清留学生に対する第一回目調査の質問項目

NO	質問項目
1	性別
2	生まれ年
3	いつ来日
4	中国での最終学歴
5	留学理由
6	なぜ日本を選んだ
7	なぜ大阪を選んだ
8	日本語学校の時していたアルバイト
9	日本語学校の時一ヶ月収入
10	日本語学校の時一ヶ月支出
11	来日一年頃自分から中国への仕送り状況
12	来日費用(事前払った学費含み、最初に持ちきた生活費用を含まない)
13	両親の意思について
14	日本語学校の時、自分の勉強状況について
15	日本語学校の時考えた自分の将来について

以上のような第一回目のインタビュー調査を経て、分析した上で2008, 2009年に来日した福清留学生と2012, 2013年に来日した福清留学生との間の変化が見えると考えられる。次に、変化を生む要因を想定し、仮説を作り、仮説に基づいて第二回目の質問項目を考える。第二回目のインタビュー調査を通じて、どのような社会的な要因で福清留学生の変化

が生じるのかが明らかになることを図る。そして、第二回目の結果に基づいて、さらに第三回目のインタビュー調査の質問項目を考え、より深く考察していく。

第4章 第一回目のインタビュー調査の結果及び分析

4.1 2008, 2009年に来日した福清留学生

2008, 2009年に来日した福清留学生に対する第一回目のインタビュー調査の内容は表4でまとめている。中国での最終学歴のところでは、10名の調査対象者は全て高卒以上であり、その内、大学や大専²⁾を合格し、行かなかった人や、大専を中退し、日本に留学に来た人もいる。

表4 2008, 2009年に来日した福清留学生に対する第一回目の調査内容

NO	名前	インタビュー日	性別	生まれ年	いつ来日	中国での最終学歴	留学理由	なぜ日本	なぜ大阪	日本語学校の特長	アルバイト	日本語学校の時給	日本語学校の月々支出	来日一年後自分から中国への仕送り状況	来日費用(事前払った学費を含み、最初に持ってきた生活費用を含まない)	両親の意思	自分の勉強状況	日本語学校の時考えた自分の将来	補足
1	A	2013年10月15日	男性	88	2008年4月	高校	行きたい大学がなくて、外を出て色々挑戦してみたい	高校の時に聞いたオーストラリア(オーストラリア)には親戚がいないため、両親が心配する。日本には親戚がいて、そして、日本の大学がていど知っていた。	親戚が大阪にいて、	魚工場と焼肉の店	18,19万円ぐらい日本語学校二年目から毎月48万円(の学費を一年間もらった)	70万円	16万円(1年)一年半の学費を含み、増り分があった	自由に帰ってほしい。外の世界を出て、色々なことを見たい。仕送りの口にしたいことがなかった。	出費がほぼ100%、来てから勉強で勉強して	日本語学校卒業後、絶対大学に行きたい。出来れば、長くて日本で生活したい。	日本にいる親戚が中国語を話さなくてもいい。		
2	B	2013年10月15日	女性	89	2008年4月	大専中退	大学進学テストの成績が悪くなくて、いい大学に行かなかった。両親は親戚の手配海外で金を稼いで送らせてほしいと希望で、自分にお勧めできた。	当時日本に行くことがブームなので、両親のお勧めだった。	東京の競争は強い。大阪はちよどいい。	中華料理店、韓国料理店、マクドナルド	16万円(1年)8万円	0	16万円(1年)一年半の学費を含み、増り分があった	最初アルバイトがあまりなかった時、両親の希望はなかった。もったいない感じが、良々になつて、自分の方でちゃんと選んでいる感じがいい。(アルバイトはなくていい)	出費率がよくて、アルバイトをあまりしなくてもいい。やはり直接大学に行きたい。専門学校に行っても、その後の大学や、大学でアルバイトしたら、あんなに勉強しなくていい。	日本語学校の時、仕事三つしていたが、途中まで休んでしまったので、月収がなかった。			
3	C	2013年10月16日	女性	90	2008年4月	大専を合格したが、行ってなかった	やりたいことがなかった。留学と云うことは完全に両親と親戚にお勧めされた。	当時日本に行くことがブームなので、両親のお勧めだった。	手帳の会社では大阪が一番人気。ビル掃除、中華料理店、居酒屋、ホテル掃除	20万円(1年)17万円(1年)	8万円	16万円(1年)一年半の学費を含み、増り分があった	一年の年金を返したことがなく、そのせいで仕送りが来た。来日した。親戚の勧めで半年間(1年)の学費を返した。	海外行って、活躍することを目指し、自分の最大の努力を尽くしてほしい。	出費率がよく、親戚の勧めで勉強した。中国の会社で勉強していた。	直接大学に行きたい。専門学校に行くよりも、自分の日本語能力を伸ばしたい。	短大を申し込みたが、中国の会社で勉強していた。		
4	D	2013年10月16日	男性	89	2008年4月	高校	中国でいい大学に行けなかった。海外ではチャンスが多くて、働けやすくていい。	英語の勉強して、自分も英語が上手。日本語では漢字も難しい。分かりやすい。	東京行けどが便利にいい。	マクドナルド、居酒屋、コンビニ	23万円(1年)17万円(1年)	130万円	16万円(1年)一年半の学費を含み、増り分があった	勉強はアルバイトに頑張る。将来日本で就職してほしい。	出費率がよく、アルバイトを頑張る。日本にのんびりしたい。	まず、専門学校行って、もう一度日本語を勉強したい。日本語の勉強は、中国の会社で勉強した。日本語の勉強は、中国の会社で勉強した。日本語の勉強は、中国の会社で勉強した。	両親はあまのり(アルバイト)を勧めた。自分も頑張る。中国の会社で勉強した。日本語の勉強は、中国の会社で勉強した。		
5	E	2013年10月16日	女性	87	2008年4月	高校	いい大学がなくて、自分も外を出て、挑戦してみたい	当時日本に行くことがブームだった。	手帳の会社の人は大阪のほうがいいとお勧めされた。大阪に会社と親戚の日本語学校がある。	中華料理店、居酒屋、コンビニ	25万円	8万円	120万円	16万円(1年)一年半の学費を含み、増り分があった	最初両親は反対だった。自分も頑張る。中国の会社で勉強した。日本語の勉強は、中国の会社で勉強した。	出費率は、大学に行きたい。自分も頑張る。中国の会社で勉強した。日本語の勉強は、中国の会社で勉強した。	両親はあまのり(アルバイト)を勧めた。自分も頑張る。中国の会社で勉強した。日本語の勉強は、中国の会社で勉強した。		
6	F	2013年10月18日	女性	88	2008年10月	高校(大専を合格したが、行ってなかった)	一回目の大学受験失敗後、やはりどうでも大学行きたかったので、一年間入って、もう一回大学受験を受けた。しかし、成績もあまのり(アルバイト)だったので、一度当時学費が分所を家まで電話して来た。そして、両親も賛成だったので、留学を決めた。	その学費が分所も日本向けだし、日本に自分の友達もいるから、	大阪行くの成功者が多い。そして、友達も大阪にいて、	専かっ店とコンビニ	20万円(1年)6万円(1年)	60万円	16万円(1年)一年半の学費を含み、増り分があった	親でほしい。	出費率が良かった。最初全然勉強しなかった。家でも勉強しなかった。学校で勉強するようになった。そして、日本に勉強するようになった。	自分の考えとして、より日本で長くいたい。日本に来て、アルバイトを勉強して、中国の会社で勉強した。日本語の勉強は、中国の会社で勉強した。	日本に来て、アルバイトを勉強して、中国の会社で勉強した。日本語の勉強は、中国の会社で勉強した。		
7	G	2013年10月22日	女性	89	2008年4月	大専の合格通知が来たが、行かなかった	元々自分が大学に行きたかったが、海外にいる兄が留学したほうがいいと勧めた。もう一人の兄も自分と同じ(大専)のつもりでいい大学に入りたいが、家の事情で自分も留学することになった。自分も勉強して、留学を決めた。	親戚が日本にいて、	留学が分所によると、東京のビジネスが、大阪に比べて、大阪に比べて、	日本語学校、一番多い時、半年間のバイトを同時	24万円(1年)5万円	110万円	16万円(1年)一年半の学費を含み、増り分があった	どうにも、自分がいる。あまのり(アルバイト)でいい。自分で頑張る。中国の会社で勉強した。日本語の勉強は、中国の会社で勉強した。	出費率が良かった。最初アルバイトに頑張る。将来日本で就職してほしい。	自分の考えとして、より日本で長くいたい。日本に来て、アルバイトを勉強して、中国の会社で勉強した。日本語の勉強は、中国の会社で勉強した。	今の気持ちでは、中国の会社で勉強した。日本語の勉強は、中国の会社で勉強した。		
8	H	2013年10月24日	男性	87	2008年4月	高校	中国でいい大学に行けなくて、親も日本に留学したから、	親が日本にいて、そして、日本の漢字と中国の漢字は似ているからもある。	親も大阪にいて、就職している。	韓国料理店と居酒屋	19万円	7万円	100万円	16万円(1年)一年半の学費を含み、増り分があった	自分のことを使った。バイトと勉強のバランスを自分で決めて、	出費率はともなかった。直接大学に行きたい。時間があるから、将来中国で勉強したい。	直接大学に行きたい。時間があるから、将来中国で勉強したい。		
9	I	2013年10月24日	男性	84	2008年10月	大専卒業、そして二年間中退で就職していた	就職していた所の待遇が悪く(給料)、自分の友達も日本に留学して、そして、両親も応援してくれた。	親戚と友達も日本にいて、	留学が分所によると、東京のビジネスが、大阪に比べて、大阪に比べて、	料理店	9万円(1年)4万円	35万円	16万円(1年)一年半の学費を含み、増り分があった	両親は自分の勉強を応援している。でも、時々両親も、自分が中国の会社で勉強した。日本語の勉強は、中国の会社で勉強した。	一年の出費率は100%だった。二年間入った。自分も頑張る。中国の会社で勉強した。日本語の勉強は、中国の会社で勉強した。	やはりいい大学に行きたかった。自分も頑張る。中国の会社で勉強した。日本語の勉強は、中国の会社で勉強した。	一年間頑張った。自分も頑張る。中国の会社で勉強した。日本語の勉強は、中国の会社で勉強した。		
10	J	2013年10月28日	女性	89	2008年10月	高校(大学は合格したが、行ってなかった)	自分は勉強が好きではないので、高校(大学)は合格したが、行ってなかった。自分の友達も日本に留学して、そして、両親も応援してくれた。自分も勉強して、留学を決めた。	自分の英語は上手で、そして、二人の兄も自分が日本に来た。そして、当時、両親も(健康上の)理由で、自分も勉強して、留学を決めた。	兄も大阪にいて、就職している。	レストランの洗い場とホテルの掃除	15万円(1年)5万円	80万円	16万円(1年)一年半の学費を含み、増り分があった	勉強は自由に、仕送りに関係ない。自分で頑張る。中国の会社で勉強した。日本語の勉強は、中国の会社で勉強した。	出費率はともなかった。直接大学に行きたい。時間があるから、将来中国で勉強したい。	大学に行きたかったが、合格できなかった。専門学校に行きたかった。自分も頑張る。中国の会社で勉強した。日本語の勉強は、中国の会社で勉強した。	大学に行きたかったが、合格できなかった。専門学校に行きたかった。自分も頑張る。中国の会社で勉強した。日本語の勉強は、中国の会社で勉強した。		

留学理由について、「行きたい大学にいけなくて、外に出て色々挑戦してみたい」、「大学進学テストの成績が良くなって、いい大学にいけなかった。両親は親戚の子供が海外で金を稼いで仕送りしてきたことを見て、自分にも勧めてきた」、「元々自分が大学に行きたかったが、海外にいる従兄弟が留学したほうがいと勧めてきた。もう1人の従兄弟も自分と同じく警察専門のもっといい大学に入ったが、彼の話では今公務員になることがとても難しいと。自分は影響されて、留学を決めた」、「自分は勉強があまり好きではないので、大学の勉強はまた高校のように辛いと想定したので、大学にあまり行きたくなかった。そして、当時、両親もよく喧嘩したので、自分はその環境から逃げたいと思った。ですので、留学を決めた」などと留学理由がそれぞれであるが、今の環境では自分が満足できないのが共通点だと考えられる。

日本を留学先として、選んだ理由について、「高校の時に憧れたオーストラリアとイギリスには親戚がいないため、両親が心配する。日本には親戚がいて、そして、日本の大学がとてもいいと知っていた」、「当時日本に行くことがブームなので、両親のお勧めだった」、「英語圏の国に関して、自分の英語が苦手。日本語では漢字も多いため、分かりやすい」、「親戚と友達が日本にいる。日本は留学とアルバイトを両立できる国だから」などと様々な理由が挙げられる。

アルバイトに関して、2008、2009年に来日した福清留学生は多くのアルバイトをしており、主に料理店、工場、掃除の仕事が人気である。彼らの日本語学校時の月収を見てみると、平均20万前後で極めて高い数字になっている。さらに、自分から中国への仕送りを見てみると、個人によってばらつきがあるが、全体的に見て、来日一年間の間平均1人80万円のお金が中国に仕送ったと見られる。来日費用に関して、平均16万元前後であり、全てが家のお金ではなく、10名のうち6名が外から借りる分がある。両親の意思に関して、家庭によって、ばらつきが生じ、「ちゃんと稼いでほしい」と「体や勉強などにも関心」との両親の希望がそれぞれである。

勉強の面に関して、全員出席率が良くて、日本に来た最初家で勉強するが、アルバイトし始めれば、家で勉強しなくなる人が多いと見られる。日本語学校の時、自分が考えた自分の将来について、殆どの対象者は日本で長くいたいという気持ちを持っていると分かる。

4.2 2012、2013年に来日した福清留学生

2012、2013年に来日した福清留学生に対する第一回目インタビュー調査の内容は表5で纏めている。中国での最終学歴について、11名の中大学あるいは大専を中退する人が2名、高校卒が6名、中専卒が3名である。

留学理由として、「中国でやることなく、外を出たい」、「高校の時、自分はいい成績ではなかった。そして、大学に入っても将来はあまりよくならないと」、「大学では勉強していたことは好きではなかった、そして、大学での毎日パソコンゲームと映画の生活もつまらなかった。その理由で大学を休学して、留学を選んだ」などと具体的な理由が様々であるが、現状に満足できないことが共通であると言えよう。

日本を留学先として、選んだ理由について、「日本の環境と人が好き」、「高校一回生の時、イギリスのビザが下りなかった。日本のビザが出やすい。経済発展しているし、環境がいいし。そして、日本に親戚が多い」、「イギリスとオーストラリアだと、自分の英語が苦手、

年日本に来たばかりの3名以外でも、仕送ったことがない人が2名いる。来日費用のところでは、7, 8万前後になり、その内借りる分がある人が5名である。両親の意思について、半分以上の親は「稼いでほしい」という希望があると分かる。

勉強の面に関して、出席率のところでは、数字が90%ぐらいの人が目立ち、「授業中は寝る、そして、よく遅刻していた。先生に言われた後、よくなった。そして、自分は大事な宿題だけをやる」、「出席率がいい。宿題はやらないほうが多い。そろそろ試験になると、勉強し始める」というような勉強に関心が少ない人が多いとわかる。自分の将来について、3名が将来日本にいてもいいと考え、そのほか8名全員が将来中国に帰りたいことである。

4.3 福清留学生の変化

2008, 2009年に来日した福清留学生と2012, 2013年に来日した福清留学生に対して、第一回目のインタビュー調査を行い、確かにさまざまな変化が表れている。まず、2008, 2009年に来日した福清留学生一年間の間平均1人80万円の中国への仕送りがあったことに対して、2012, 2013年に来日した福清留学生の数字を見ると、高い金額を仕送った人もいるが、全体的に明確に減少している。次に、2008, 2009年に来日した福清留学生全員の出席率がよかったことに対して、2012, 2013年に来日した福清留学生の出席率の悪化がはっきりとわかる。そして、2008, 2009年に来日した福清留学生の中、家や学校で勉強する人が多いことに対して、2012, 2013年に来日した福清留学生が勉強に時間を使う人が僅かであった。また、2008, 2009年に来日した福清留学生の中9名が長く日本にいる予定ということに対して、2012, 2013年に来日した福清留学生僅か3名が日本に長くいたいことで、日本に長くいる予定のある人が減少しているとわかる。最後に、2008, 2009年に来日した福清留学生全員が高卒以上に対して、2012, 2013年に来日した福清留学生の中中専卒の人もいて、来日した福清留学生の学歴が下がっていると言える。以上のような分析を通じて、福清留学生は以下4点の変化(表6)があげられる。

表6 福清留学生の変化

NO	変化
1	2012, 2013年に来日した福清留学生は2008, 2009年に来日した福清留学生より自分から中国への仕送り額が減少している
2	2012, 2013年に来日した福清留学生は2008, 2009年に来日した福清留学生より出席率が悪化し、勉強しなくなる
3	2012, 2013年に来日した福清留学生は2008, 2009年に来日した福清留学生より日本に長くいる予定のある人が減少している
4	2012, 2013年に来日した福清留学生は2008, 2009年に来日した福清留学生より中国での最終学歴が低下している

表6のように2008, 2009年に来日した福清留学生と2012, 2013年に来日した福清留

学生との間の変化は、1)2012, 2013 年に来日した福清留学生は 2008, 2009 年に来日した福清留学生より自分から中国への仕送り額が減少している, 2)2012, 2013 年に来日した福清留学生は 2008, 2009 年に来日した福清留学生より出席率が悪化し, 勉強しなくなる, 3)2012, 2013 年に来日した福清留学生は 2008, 2009 年に来日した福清留学生より日本に長くいる予定のある人が減少している, 4)2012, 2013 年に来日した福清留学生は 2008, 2009 年に来日した福清留学生より中国での最終学歴が低下しているとの 4 つが明らかになる. ここから, 一体どのような社会的な要因で以上の変化が生じるのかを明らかにしなければならない.

4.4 第一回目のインタビュー調査の結果を受けて

第一回目の調査の中で, 2008, 2009 年に来日した福清留学生と 2012, 2013 年に来日した福清留学生との来日費用の差という客観的なものに注目しなければならないと考える. 確かに, 2008, 2009 年に来日した福清留学生は 2012, 2013 年に来日した福清留学生より 2 倍以上多くなっている, 来日費用が減少していることによって, 表 6 の変化①, ②, ③が生じるという仮説を立てることにする.

そのため, 第二回目のインタビュー調査では, 来日費用の変化が福清留学生来日後の行動や考え方にどのような影響を与えるのかと, どのような要因で来日費用が下落したのかを明らかにしなければならない. そのために, 第二回目の調査で, 主は表 7, 表 8 のような質問項目で 2008, 2009 年に来日した福清留学生と 2012, 2013 年に来日した福清留学生をインタビューしていくことにする.

表 7 2008, 2009 年に来日した福清留学生に対する第二回目調査の質問項目

NO	質問項目
1	自分の出国費用は高いと思うか
2	出国費用が高いのに、なぜまた日本に留学する
3	あなたの出国費用は最近来た福清留学生と比べて、下落したが、なぜ下落したか
4	もしあなたの来日費用が2012, 2013年来日の福清留学生と同じく低かったら、当時と比べて、あなたの来日後の行動や考えなどが変わるか

表8 2012, 2013年に来日した福清留学生に対する第二回目調査の質問項目

NO	質問項目
1	自分の出国費用が少ないと思いますか
2	なぜ以前と比べて出国費用が下落したか
3	もしあなたの来日費用が2008, 2009年に来日した福清留学生と一緒にすれば、あなたはまた日本に留学するか
4	もしあなたは高い費用で留学するとしたら、今と比べてあなたの来日後の行動や考え方が変わるか

第5章 第二回目のインタビュー調査の結果及び分析

5.1 来日費用減少の要因

第二回目のインタビュー調査では、2008, 2009年に来日した福清留学生10名と2012, 2013年に来日した福清留学生11名を再びインタビューし、以下表9, 表10はそれらの内容になっている。

2008, 2009年に来日した福清留学生の回答を見てみると、10名が「自分の出国費用は高いと思うか」という質問に対して、9名が「自分の出国費用が高い」と答え、1名が「高いかどうかその感覚がない」と答えた。次に続いて「自分の出国費用が高い」と答えた9名に対して、「出国費用が高いのに、なぜまた日本に留学する」と聞いた。回答内容は、6名が「日本でアルバイトできるので、向こうで稼いで何とか返済できる」と、そのほか「高いけど、自分が中国でやることないし、留学の価値があると信じる」、「家族から金のことして、心配いらない」、「みんな一緒だから、あまり気にしない」と答える人も1人ずついた。そして、2012, 2013年に来日した福清留学生11名が「自分の出国費用が少ないと思いますか？」に対して、11名全員が「少ない」と答えた。

そして、福清留学生全員は「なぜ出国費用が下落したか？」という問いに対して、2008, 2009年に来日した福清留学生10名と2012, 2013年に来日した福清留学生9名、合わせて19名の方が「来日福清留学生が減少したから」と答えた。そのほか、1名が「日本円が安くなった、そして、中国の経済がよくなったから」と、1名が「福清でそのような仲介屋が増えた。そして、日本にいる福清人が多くなって、日本に留学することが稀ではなくなったから」と答えた。さらに、19名に「来日福清留学生が減少した」の原因を尋ねた結果、以下のような答えが出た。

「東日本大震災の影響」、「日本経済の悪化」、「中日関係（島をめぐる）の緊張」、「中国での金儲けも速くなった」、「中国での一人子が増えた（親は苦勞させたくない）」、「中国の金持ちが増えた」、「中国経済の発展」、「円安」、「他の国も行きやすくなった」、「中国政府が来日人数を制限した」との答えがあった。そして、統計した結果、「東日本大震災の影響」が17名、「日本経済の悪化」が13名、「中日関係（島をめぐる）の緊張」が13名、「中国での金儲けも速くなった」5名、「中国での一人子が増えた（親は

苦労させたくない)」が5名、「中国の金持ちが増えた」が5名、「中国経済の発展」が4名、「円安」が2名、「他の国も行きやすくなった」が1名、「中国政府が来日人数を制限した」が1名との回答であった。

したがって、「東日本の大震災」、「日本経済の悪化」、「中日関係（島をめぐる）の緊張」という三つの要因はもっとも来日福清留学生の減少に影響を与えていると第二回目のインタビュー調査でわかる。

表9 2008, 2009年に来日した福清留學生に対する第二回目の調査内容

NO	名前	自分の出国費用は高いと思うか？	出国費用が高いのに、なぜまた日本に留学する？	あなたの出国費用は2012、2013年に来日した福清留學生と比べて、下落したか？	なぜ来日の福清留學生の数が減少したか？	もしあなたの来日費用が2012、2013年来日した福清留學生と同じ低かったら、当時と比べて、あなたの来日後の行動や考えなどが変わるか？
1	A	高い。	高いけど、自分が中国でやることもないし、留学の価値が絶対あると信じた。	来日の福清留學生が減少したから。	日本経済の悪化により、アルバイトが見つげにくくなる、日本の大震災の影響、中日関係の緊張。	プレッシャーが減り、そんなにアルバイトをしないと思う。そして、勉強はもちろん、他のサークル活動にももっと時間を使いたい。
2	B	高いかどうか、自分当時その感覚がなかった。		来日の福清留學生が減少したから。	日本経済の悪化、中日関係の悪化、大震災。	全部変わらないと思う。自分があまりアルバイトしなかったので、費用が低くなくても、自分の行動や考えなどが変わらない。
3	C	高い。	日本で何とか稼いで返済できると思った。	来日の福清留學生が減少したから。	日本の大震災、中日関係の悪化。	あまり変わらないと思う。アルバイトに関して、自分がもっともアルバイトをみつけの時間がかり、今よりアルバイトの時間を少なくすることがない。
4	D	高い。	日本でアルバイトをして、絶対返済できると思った。	来日の福清留學生が減少したから。	日本経済の悪化により、アルバイトを見つけるのが難しくなった、中国での金儲けも速くなった、大震災の影響。	プレッシャーが減り、そんなにアルバイトをしないと思う。ほかは変わらないと思う。
5	E	高い。	皆は一緒だから、あまり気にしない。	来日の福清留學生が減少したから。	中日関係の悪化、日本経済の悪化、地震による影響、中国の金持ちが増え、自分の子供たちを苦労させたくない。	気持ち的な負担が減ったが、仕事があれば、相変わらずやる。
NO	名前	自分の出国費用は高いと思うか？	出国費用が高いのに、なぜまた日本に留学する？	あなたの出国費用は2012、2013年に来日した福清留學生と比べて、減少したが、なぜ減少したか？	なぜ来日の福清留學生の数が減少したか？	もしあなたの来日費用が2012、2013年来日した福清留學生と同じ低かったら、当時と比べて、あなたの来日後の行動や考えなどが変わるか？
6	F	高い。	日本でアルバイトをして、絶対返済できると思った。	来日の福清留學生が減少したから。	日本経済の悪化、大震災、中国での金儲けも速くなった、1人子が増え、家族が苦労させたくない。	プレッシャーが減り、アルバイトはそんなにしなくなると思う。そして、勉強にもっと時間を使う。当時事情により、日本語卒業後、自分も中国に帰ったかも。
7	G	高い。	家族はお金のことでは心配要らないと言ってくれた。	来日の福清留學生が減少したから。	大震災の影響、中日関係の悪化、中国の人たちの生活水準が上がった、中国の経済の発展。	プレッシャーが減り、アルバイトはそんなにしなくなると思う。そして、勉強にもっと時間を使う。
8	H	高い。	日本でアルバイトをして、絶対返済できると思った。	来日の福清留學生が減少したから。	中国での金儲けも速くなった、日本経済の悪化。	プレッシャーが減り、アルバイトはそんなにしなくなると思う。そして、勉強にもっと時間を使う。
9	I	高い。	日本でアルバイトをして、絶対返済できると思った。	来日の福清留學生が減少したから。	大震災の影響、中日関係の悪化、日本経済の悪化。	変わらないと思う。
10	J	高い。	日本でアルバイトをして、なんとなく返済できると思った。	来日の福清留學生が減少したから。	中日関係の悪化、地震による影響、円安、中国政府が来日人数を制限する、	プレッシャーが減り、アルバイトの時間は減ると思う。他のは変わらないと思う。

表 10 2012, 2013 年に来日した福清留学生に対する第二回目の調査内容

NO	名前	自分の出国費用が少 ないと思いますか？	なぜ以前と比べて出国 費用が下落したか？	なぜ来日の福清留学生の 数が減少したか？	もしあなたの来日費用が 2008, 2009 年に来日した福 清留学生と一緒にならば、あ なたはまた日本に留学する か？	もしあなたは高い費用で留学 するとしたら、今と比べてあな たの来日後の行動や考え方 などが変わるか？
1	K	少ない	来日福清留学生が減 少したから。	日本経済の悪化、大震災の 影響。	来ると思う。	アルバイトは今より増えるが、 たくさんは無理だ。
2	L	少ない	日本円が安くなった、 そして、中国の経済が よくなったから。		来ないと思う。返済のプレッ シャーが大きすぎるから。	今よりもっとアルバイトをす る。それで、疲れて、出席率 に関して、今より悪くなると思 う。
3	M	少ない	来日福清留学生が減 少したから。	日本の経済が悪化、東北の 大震災の影響、中国のお金 持ちが増えた、中国で1人子 が増えて、親は苦労させたく ない。	来ないと思う。返済のプレッ シャーが大きすぎるから。	今よりもっとアルバイトをす る。出席率は今と変わらない と思う。でも今が考えるより もっと日本にいるかも。
4	N	少ない	来日福清留学生が減 少したから。	日本の大震災により影響、円 安、中国の金持ちが増えた。	来ないと思う。返済のプレッ シャーが大きすぎるから。	アルバイトは今と変わらない。 今の以上はしんどい、無理 だ。もっと日本にいるかも。
5	O	少ない	来日福清留学生が減 少したから。	日本の大震災の影響、日本 経済の悪化、中日関係の悪 化、中国経済の発展。	来ないと思う。返済のプレッ シャーが大きすぎるから。	アルバイトはもつとと思 う。それで、出席率が今より 悪くなる。きつと。
6	P	少ない	来日福清留学生が減 少したから。	中日関係の悪化、中国での 金儲けも速くなった、他の国 も行きやすくなった、1人子 が増えて、親は苦労させたく ない。	来ないと思う。返済のプレッ シャーが大きすぎるから。	アルバイトはもつとと思 う。それで、出席率が今より 悪くなる。
NO	名前	自分の出国費用が少 ないと思いますか？	なぜ以前と比べて出国 費用が減少したか？	なぜ来日の福清留学生の 数が減少したか？	もしあなたの来日費用が 2008, 2009 年に来日した福 清留学生と一緒にならば、あ なたはまた日本に留学する か？	もしあなたは高い費用で留学 するとしたら、今と比べてあな たの来日後の行動や考え方 などが変わるか？
7	Q	少ない	来日福清留学生が減 少したから。	中国経済の発展、中日関係 の悪化、中国のお金持ちが 増え、自分の子供を苦労させ たくない、大震災の影響。	来ないと思う。返済のプレッ シャーが大きすぎるから。	アルバイトはもつとと思 う。出席率は変わらないかな。 モットに日本にいるかも。
8	R	少ない	福清でそのような仲介 屋が増えた。そして、 日本にいる福清人が 多くなって、日本に留 学することが稀ではな くなったから。		来ないと思う。返済のプレッ シャーが大きい。そして、 自分が返済し終わったら、自 分の年齢も上になったから、 結局何も出来なかった。	アルバイトはもつとする。他は 変わらない。
9	S	少ない	来日福清留学生が減 少したから。	日本の大震災の影響、日本 経済の悪化、中日関係の悪 化、。	また来る。日本に来る価値 があるから、ここで自分がや りたいことがあるから。	アルバイトはもつとする。他は 変わらない。
10	T	少ない	来日福清留学生が減 少したから。	日本経済の悪化、地震の影響、 中国での金儲けも速く なった、中日関係の悪化。	来ないと思う。返済のプレッ シャーが大きい。	アルバイトは今より多くなる。 他は変わらない。
11	U	少ない	来日福清留学生が減 少したから。	東北大震災の影響、日本経 済が悪くなった、中日関係の 悪化、中国経済の発展。	自分は迷うと思う。返済が難 しくなるけど、自分が中国に いても、よい将来があると思 わないし。	今よりもっとアルバイトをす る。返済のプレッシャーが大き くなったから。出席率に関し て、今より悪くなると思う。

5.2 来日費用の下落がもたらす福清留学生の変化

2012, 2013 年に来日した福清留学生 11 名に対して、「もしあなたの来日費用が 2008, 2009 年に来日した福清留学生と一緒にならば、あなたはまた日本に留学するか？」と尋ねた結果、8 名が「来ない」と答え、その理由に関して、6 名が「返済のプレッシャーが大きすぎる」、2 名が「他の国に行く」と言った。1 名は「来るかどうか迷う」と答え、理由

が「返済が難しくなる。そして、僅か 2 名は「また来る」と答え、理由について、1 名が「中国がある意味で小さすぎるから、自分は外を出たい、日本が好きだ」、1 名が「自分が勉強したいことがある」と答えた。

来日費用は 2012, 2013 年に来日した福清留学生に大きい影響を与えることがわかる。その中、やはり来日費用が高くなれば、返済の難しさを感じる人が多く、日本に来て自分が返済のプレッシャーに耐えていけるかとの心配である。そして、2 名がまた日本に来ると答え、この 2 名の回答者にとって、日本に来てから送ってきた生活が金銭的にそれなりの高値に値すると言えよう。

次に、来日費用の変化によって、福清留学生の来日後の行動や考え方などの変化について考察する。2008, 2009 年に来日した福清留学生は「もしあなたの来日費用が 2012, 2013 年来日の福清留学生と同じく低かったら、当時と比べて、あなたの来日後の行動や考えなどが変わるか?」という質問に対して、7 名が「返済のプレッシャーが減り、アルバイトがそんなにしなくなるかも」と答え、うち 3 名は「もっと勉強に時間を使う」、1 名が「勉強にはもちろん、他のサークル活動にももっと時間を使いたい」と答えた。そして、2 名は「もともとあまり稼いでなかったのだから、アルバイトする時間は変わらない」と、1 名が「気持ち的な負担が減ったが、仕事があれば、相変わらずやる」と答えた。2008, 2009 年に来日した福清留学生に関して、来日費用の下落により、アルバイトは以前のようにしなくなる人が多くなり、もちろん以前より月収が減り、中国への仕送り額も減少すると言えよう。従って、来日費用のことは 2008, 2009 年に来日した福清留学生の中国への仕送り額に影響を与える。考え方の変化に関して、来日費用の下落により、10 名の中に 1 名の調査対象者は返済のためのアルバイトがそんなにしなくてもいいので、親身体の原因でもっと早く中国に帰るとの考えを示した。

また、2012, 2013 年に来日した福清留学生の場合では、「もしあなたは高い費用で留学するとしたら、今と比べてあなたの来日後の行動や考え方などが変わるか?」に対して、10 名が「返済のプレッシャーが大きくなったから、今よりもっとアルバイトする」、1 名が「今の以上は無理だ、しんどい」と答えた。そして、アルバイト以外の行動に関して、4 名が「アルバイトを多くすることになったら、出席率が絶対下がる」、他 7 名が「今とあまり変わらない」と回答した。2012, 2013 年に来日した福清留学生に関して、来日費用増加により、アルバイトは今よりもっとする人が圧倒的に多くなり、そこで、今より月収も増加し、中国への仕送り額も増加すると言えよう。従って、来日費用のことは 2012, 2013 年に来日した福清留学生の中国への仕送り額に影響を与える。勉強以外の行動に関して、出席率は全体的に来日費用の増加により逆に低下する傾向があると言えよう。最後に、考え方の変化に関して、もともと日本に長くいる予定がない 7 名の回答を見てみると、3 名が「より長く日本にいるかも」と考え方の変化を示した。

したがって、以上の分析を通じて、来日費用の下落は「2012, 2013 年に来日した福清留学生は 2008, 2009 年に来日した福清留学生より自分から中国への仕送り額が減少している」という変化 1 に影響を与えている。変化 2 が来日費用の下落と直接な関連性がなく、そして、変化 3 に関しては、7 名の内 3 名が「より長く日本にいるかも」との考えの変化を示し、それが変化 3 と来日費用の下落との関連性を証明するための十分なデータになるとは言えない。

5.3 学歴変化の要因

(1) 日本語学校の先生に対するインタビュー

今まで変化1, 変化2, 変化3について, 考察してきたが, 「変化4 2012, 2013年に来日した福清留学生は2008, 2009年に来日した福清留学生より中国での最終学歴が低下している」の要因について, 筆者は前述の日本語学校の先生に電話でインタビュー調査を行った⁴⁾。「最近日本語学校に入学する福清留学生の中, なぜ以前あまりなかった中専卒の人が増えと思いませんか?」という問いに対して, 確かに以前中専卒の人はいなかった。2009年10月に来日した人の中のひとりが最初であった。それは近年学校が学生の募集方針を変えたから。2009年10月以前この学校は来日入学申請の学歴条件として, 高校を卒業した人か, 高考⁵⁾を参加したことがある人, どちらかを満たさなければいけない。しかし, 最近では中国で12年間の学校教育を受けたことがあれば, 申請できることになる。というのは, 高考じゃなくても, 中専を卒業した人でも, 中国での学校教育が12年間以上あるから, この学校の入学申請ができる。もちろん, 面接も受けてもらわなければならない。そこでまた学生の質を見ると先生が言う。

「入国管理局の方針はどうですか?」という問いに対して, 入国管理局では, 確かに最終学歴の卒業証書があれば, 大丈夫だと言っているが, 実際中学校を卒業した人は来日留学を申請することが難しいと思う。私は実際入国管理局の関係者からそう言ってもらったことがあると先生が言う。

さらに, 「どうして学校は条件を変えましたか?」という問いに対して, 来日する福清留学生が減ったから。学生の質はもちろん保ちたいけど, 条件を低くして, より多くの留学生が来日できるようにと先生が言う。

以上のインタビュー内容から, 来日福清留学生が減少することによって, 日本語学校も来日入学条件を低くして, より多くの福清留学生が来てもらえるようにせざるを得ないことがわかる。そこで, 今までこの学校に入学することが難しい中専卒の人たちは入学できるようになる。そのため, 「変化4 2012, 2013年に来日した福清留学生は2008, 2009年に来日した福清留学生より中国での最終学歴が低下している」という変化が生じる。

(2) 学歴と勉強状況

前述のように, 「2012, 2013年に来日した福清留学生は2008, 2009年に来日した福清留学生より中国での最終学歴が低下している」, 「2012, 2013年に来日した福清留学生は2008, 2009年に来日した福清留学生より出席率が悪化し, 勉強しなくなる」という二つの変化があり, ここで学歴と勉強状況の関連性を考察する。

表11の2012, 2013年に来日した中専卒Kさん, Lさんの勉強状況を見ると, 「真面目に勉強していない」, 「授業中は寝る, そして, よく遅刻していた。先生に言われた後, よくなった。そして, 自分は大事な宿題だけをやる」というような勉強にあまり関心がない態度を示している。そして, 高考二回生の頃から学校に行かなくなったUさんについては, 「仕事が増えた後, 遅刻をするようになった。出席率が90%以上」との仕事優先の態度を示している。そのほか, 高卒の調査対象者は殆ど出席率がよかったが, 勉強や宿題などをやらないことが多いとわかる。上記のように中専卒と高卒の勉強状況での差は明らかになっている。したがって, 2012, 2013年に来日した福清留学生の中でも, 学歴は勉強

状況に影響があると言える。

表 11 2012, 2013 年に来日した福清留学生の学歴と勉強状況

NO	名前	中国での最終学歴	自分の勉強状況
1	K	中専	真面目に勉強していない。授業中は寝る、そして、よく遅刻していた。先生に言われた後、よくなった。そして、自分は大事な宿題だけをやる。
2	L	中専	出席がいい、宿題は気持ち次第。
3	M	高校	出席率がいい。宿題はやらないのほうが多い。そろそろ試験になると、勉強し始める。
4	N	高校	宿題をやる、わからないことを先生に聞く。主に単語を頑張っ覚えてる。
5	O	中専	宿題はやるが、家で本をあまり見ない。
6	P	高校	
NO	名前	中国での最終学歴	自分の勉強状況
7	Q	高校	出席率は普通。家であまり勉強しないが、授業中できるだけ先生の話をしっかり聞く。
8	R	大専中退	出席率が90%ぐらい。深夜の仕事をしているので、家での時間はほぼ寝る。出席率100%。今は毎回きちんと文法の予習をして、授業を望む。成績は非常にいい。
9	S	大学中退	
10	T	高校	出席率が100%。勉強はあまりしない。
11	U	高校(高校二回生の時、卒業書証を確定してから、もう学校に行かなくなった。)	仕事が増えた後、遅刻をするようになった。出席率が90%以上。

したがって、「2012, 2013 年に来日した福清留学生は 2008, 2009 年に来日した福清留学生より中国での最終学歴が低下している」という変化 4 により、「2012, 2013 年に来日した福清留学生は 2008, 2009 年に来日した福清留学生より出席率が悪化し、勉強しなくなる」という変化 2 が生じるとわかる。

5.4 福清留学生の変化及び諸要因のモデル

以上の分析を踏まえて、筆者は図 2 のような福清留学生の変化及び変化に対する影響要因のモデルを作成した。図 2 の通り、「日本大震災の影響」、「日本経済の悪化」、「中日関係(島をめぐる)の緊張」が来日福清留学の減少に影響があり、そして、来日福清留学生の減少により、来日費用が下落していると言える。また、2008, 2009 年に来日した福清留学生と 2012, 2013 年に来日した福清留学生との間に、「変化 1 2012, 2013 年に来日した福清留学生は 2008, 2009 年に来日した福清留学生より自分から中国への仕送り額が減少している」、「変化 2 2012, 2013 年に来日した福清留学生は 2008, 2009 年に来日した福清留学生より出席率が悪化し、勉強しなくなる」、「変化 3 2012, 2013 年に来日した福清留学生は 2008, 2009 年に来日した福清留学生より日本に長くいる予定のある人が減少している」という 3 つの変化があった。前述のように、来日費用の下落は「変

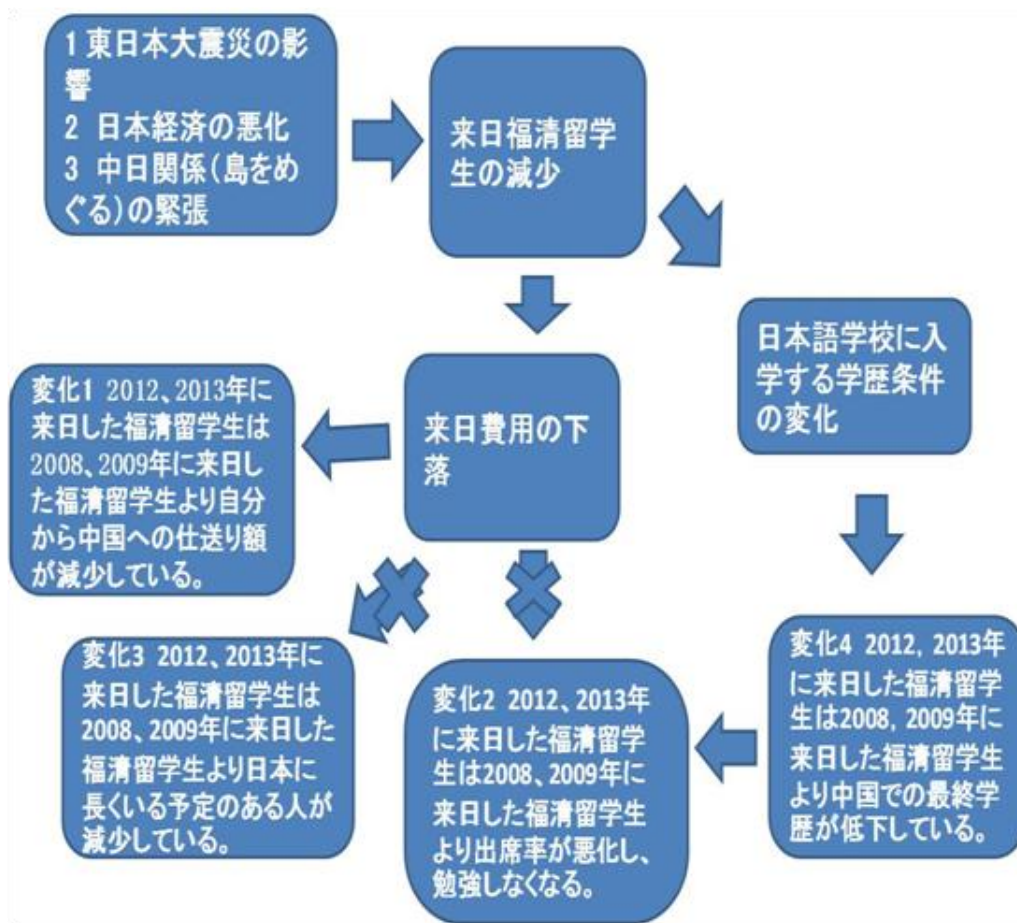


図2 福清留学生の変化及び変化に対する影響要因のモデル1

化1 2012、2013年に来日した福清留学生は2008、2009年に来日した福清留学生より自分から中国への仕送り額が減少している」のみに影響がある。一方、来日福清留学生の減少により、日本語学校が入学の学歴条件を低くし、そして「変化4 2012、2013年に来日した福清留学生は2008、2009年に来日した福清留学生より中国での最終学歴が低下している」が生じ、そして変化4が「変化2 2012、2013年に来日した福清留学生は2008、2009年に来日した福清留学生より出席率が悪化し、勉強しなくなる」に影響を与える。

5.5 第二回目のインタビュー調査の結果を受けて

来日福清留学生の減少の要因について、「東日本大震災の影響」、「日本経済の悪化」、「中日関係（島をめぐる）の緊張」という三つのことが明らかとなる。三つのことが起こったのはすべて2008、2009年に来日した福清留学生の来日後である。そこで、もし三つのことが彼らの来日前にすでに発生すれば、彼らはまた来日するのかを検証する必要が生じる。そして、前述のように来日福清留学生の減少の要因として、もっとも影響のある「東日本大震災」はどのように福清留学生の減少に影響を与えるのかについて、明らかにしたい。また、2008、2009年に来日した福清留学生と2012、2013年に来日した福清留学生、彼らが日本に来なければ、どこにいて、何をしていたことも合わせて明らかにしたい。

したがって、第三回目のインタビュー調査で、2008、2009年に来日した福清留学生と

2012, 2013 年に来日した福清留学生に対して, 主に表 12, 表 13 のような質問することにした.

表 12 2008, 2009 年来日した福清留学生に対する第三回目の質問内容

NO	質問項目
1	東日本大震災がどのように来日福清留学生の数の減少に影響を与えたか
2	もしあなたが日本に留学する前に、東日本大震災があったとしたら、あなたはまた日本に留学するか
3	もしあなたが日本に留学する前に、日本経済が既に悪化したら、あなたはまた日本に留学するか
4	もしあなたが日本に留学する前に、中国と日本の関係が既に悪化したら、あなたはまた日本に留学するか
5	もしあなたが日本に留学しなければ、どこにいて、何をしていたか

表 13 2012, 2013 年来日した福清留学生に対する第三回目の質問内容

NO	質問項目
1	東日本大震災がどのように来日福清留学生の数の減少に影響を与えたか
2	もしあなたが日本に留学しなければ、どこにいて、何をしていたか

第 6 章 第三回目インタビュー調査の結果及び分析

6.1 来日福清留学生減少の要因の検証

第三回目のインタビュー調査で得た回答内容は表 14, 表 15 の通りである. まず, 2008, 2009 年に来日した福清留学生 10 名が「もしあなたが日本に留学する前に、東日本大震災があったとしたら、あなたはまた日本に留学するか?」という質問に対して、来ないと答えるのが 7 名, 来ると答えるのが 2 名, わからないと答えるのが 1 名である. 来ない理由に関して、「身の安全性はやはり第一位だ」、「家族も絶対行かせてもらえないし」、「来ないと思う, 危ないから, 2, 3 年後行くかも」などと留学することが命の危険性を帯びると感じる人が多いのである. 次に、「もしあなたが日本に留学する前に、日本経済が既に悪化したら、あなたはまた日本に留学するか?」という質問に対して、来ないと答える人

が3名、来ると答える人が6名、わからないと答える人が1名である。来る理由に関して、「自分に影響がない」と答える人が多いのである。また、「もしあなたが日本に留学する

表 14 2008, 2009 年に来日した福清留学生に対する第三回目の調査内容

NO	名前	東日本大震災がどのように来日福清留学生の数の減少に影響を与えたか？	もしあなたが日本に留学する前に、東日本大震災があったとしたら、あなたはまた日本に留学するか？	もしあなたが日本に留学する前に、日本経済が既に悪化したら、あなたはまた日本に留学するか？	もしあなたが日本に留学する前に、中国と日本の関係が既に悪化したら、あなたはまた日本に留学するか？	もしあなたが日本に留学しなければ、どこにいて、何をしていたか？
1	A	中国のメディアの報道を見て、日本が危ないと思った。東京にいる福清留学生の多くが中国に帰った。それを知って、恐れて日本に留学しなくなかった。	しなないと。身の安全性はやはり第一位だ。	来る。自分にあまり影響がない。	来る。自分にあまり影響がない。	何か一つ専門技術を学んで、どこかの職に就くと思う。
2	B	家族が心配で、自分の子供を日本に行かせない。	日本に来ないと思う。家族も絶対行かせてもらえないし。	来る。当時の自分は絶対日本経済とかに関心がなかったから。	来る。当時の自分も中日関係に関心がなかったから。	大学を続ける。日本が安全になったら、また日本に。
3	C	日本にいる知り合いから地震の情報を得て、日本への留学を怯えた	日本に来ないと思う。命はやはり大事だ。そして、家族も絶対行かせてもらえないし。	来ると思う。日本経済は自分にあまり影響がない。	来るかな。今まで中日関係悪化したり、よくなったたり、よくあることなので、あまり気にしない。	中国で合格した大専に行く。
4	D	地震はずっと影響を持つわけではなく、2011と2012年ぐらいの来日しようと思う福清留学生だけに影響があると思う。	来ないと思う。危ないから。二、三年後また行くかも。	来ないと思う。アルバイトが見つからないことが一番心配だ。	関係ない。来ると思う。	中国で何かの仕事に就くと思う。二つ目の選択肢として、オーストラリアに留学する。
5	E	中国のメディアの報道を見て、日本が危ないと思って、留学しなくなる。地震を体験した福清留学生たちが帰国して、自分の体験談を中国にいる人たちに伝えた。	来ないと思う。家族は行かせてもらえないと思う。	来ると思う。日本経済は自分に影響がない。	来ないと思う。自分が日本に行つて、向こうでどうされるのが心配だ。	中国の大学に入ったと思う。
NO	名前	地震がどのように来日福清留学生の数の減少に影響を与えたか？	もしあなたが日本に留学する前に、東北大震災があったとしたら、あなたはまた日本に留学するか？	もしあなたが日本に留学する前に、日本経済が既に悪化したら、あなたはまた日本に留学するか？	もしあなたが日本に留学する前に、中国と日本の関係が既に悪化したら、あなたはまた日本に留学するか？	もしあなたが日本に留学しなければ、どこにいて、何をしていたか？
6	F	家族が心配で、自分の子供を日本に行かせない。そして、日本にいる知り合いから地震の情報を得て、日本への留学を怯えた。	来ないと思う。命が一番だ。	来る可能性がある。	来る可能性がある。	中国の大学に入ったと思う。
7	G	中国のメディアの報道を見て、日本が危ないと思って、留学しなくなる。地震を体験した福清留学生たちが帰国して、自分の体験談を中国にいる人たちに伝えた。	分からない。	分からない。	分からない。	従兄弟がいるシンガポールに行ったかも。
8	H		来ると思う。安全な場所に行けばいい。	来ると思う。個人に影響あまりないと思う。	来ると思う。個人に影響あまりないと思う。	中国の大学に入ったと思う。
9	I	日本にいる知り合いから地震の情報を得て、日本への留学を怯えた	来ないと思う。家族がきつと心配。	来ないと思う。行つてあまり稼げないことが心配。	来ないと思う。日本ではどうなるのかが心配。	オーストラリアに留学したと思う。
10	J	家族がきつと心配で、生かせない。	来ると思う。大阪は大丈夫だと思う。	来ないと思う。日本に行つて、ちゃんと稼いでいけるのかが心配。	来ると思う。個人にあまり影響がない。	中国の大学に入ったと思う。第二の選択肢として、従姉妹がいたアイルランドに行ったと思う。

表 15 2012, 2013 年に来日した福清留学生に対する第三回目の調査内容

NO	名前	東日本大震災がどのように来日福清留学生の数の減少に影響を与えたか？	もしあなた日本に留学しなければ、どこにいて、何をしていた？
1	K	地震を体験した福清留学生が帰国し、自分の体験談を中国にいる人たちに伝えて、みんなが日本に留学しなくなる。	中国で何かの職に就くと思う。
2	L		中国で何か専門的な技術を勉強し、仕事に就くと思う。
3	M	大震災によって、日本の経済が悪化し、みんながそれを知って、日本に行っても、儲けれないと思うかも。	お兄さんがいるイギリスに行くか、中国で仕事に就くか。
4	N	東京にいる福清留学生の多くが中国に帰った。それを知っていて、恐れて日本に留学しなくなりました。	中国の大学に行く。
5	O	地震を体験した福清留学生が帰国し、自分の体験談を中国にいる人たちに伝えて、みんなが日本に留学しなくなる。	中国のどこかで仕事に就くと思う。
6	P		イギリスに行く。
NO	名前	地震がどのように来日福清留学生の数の減少に影響を与えたか？	もしあなた日本に留学しなければ、どこにいて、何をしていた？
7	Q	日本にいる知り合いから地震の情報を得て、日本への留学を怯えた。	イギリスに留学する。
8	R		大学に戻って、勉強する。
9	S	家族が心配で、子供を行かせない。そして、自分も中国のメディアの報道を見て、危ないと思う。	中国の大学の勉強を続ける。
10	T	日本にいる知り合いから地震の情報を得て、日本への留学を怯えた。自分が気にしなくても、家族が心配で行かせない。	中国で飲食店をやりたい。
11	U	中国のメディアの報道を見て、日本が危ないと思った。	中国でコックの仕事をし続けていると思う。

前に、中国と日本の関係が既に悪化したら、あなたはまた日本に留学するか？」に対して、来ないと答えるのが 2 名、来ると答えるのが 7 名、わからないと答えるのが 1 名である。来る理由について、「自分に影響がない」のような意見が多いのである。

以上のように、2008, 2009 年に来日した福清留学生 10 名に対して、「東日本大震災の影響」、「日本経済の悪化」、「中日関係（島をめぐる）の緊張」という三つの要因を検証した結果、「東日本大震災」の影響が最も大きいのがわかる。「日本経済の悪化」、「中日関係（島をめぐる）の緊張」という 2 つの要因に関して、2008, 2009 年に来日した福清留学生自身には大きい影を与えていないが、その 2 つの要因が他の日本に留学しない福清人に大きい影響を与えていると考えるだろう。

6.2 東日本大震災がもたらす影響

第三回目の調査では、2008、2009年に来日した福清留学生と2012、2013年に来日した福清留学生21名の中、前述のように、地震のことが来日福清留学生の減少に影響を与えたと答えた17名の対象者に対して、「東日本大震災がどのように来日福清留学生の数の減少に影響を与えたか？」を尋ねたところ、以下のような回答が出た。「東京にいる福清留学生の多くが中国に帰った。それを知っていて、恐れて日本に留学しなくなかった」、「地震を体験した福清留学生が帰国し、自分の体験談を中国にいる人たちを伝えた」、「中国のメディアの報道を見て、日本が危ないと思った」、「日本にいる知り合いから地震の情報を得て、日本への留学を怯えた」、「地震の後、自分が気にしてなくても、家族は心配で行かせない」、「地震はずっと影響を持つわけではなく、2011年の来日しようと思う福清留学生に影響を与えた」と様々な影響方法が見られる。

6.3 学歴について

第三回目の調査では2008、2009年に来日した福清留学生と2012、2013年に来日した福清留学生全員に対して、「もしあなたが日本に留学しなければ、どこにいて、何をしていたか」と尋ねた。2008、2009年に来日した福清留学生10名の内6名が「大学を続ける」、「中国で合格した大専に行く」などと答えた。彼らはもし日本に留学しに来なければ、中国で高校教育を受けるチャンスがあることがわかる。それに対して、2012、2013年に来日した福清留学生11名の内3名だけが「中国の大学に行く」、「大学に戻って勉強する」などと答え、残り8名は何かの職に就くか、ほかの国に行くに答える人が多い。そのため、2012、2013年に来日した福清留学生の半分以上は、日本に留学しに来なければ学校教育を受けることができないとわかる。したがって、この質問に対する回答から、2008、2009年に来日した福清留学生と2012、2013年に来日した福清留学生との間の学歴の差は再び感じられる。そして、彼らの回答から、日本に留学しない福清人たちは今何をしているのかも推測できる。

6.4 結論

三回のインタビュー調査を通じて、福清留学生の変化及び変化に対する影響要因を明らかにした。まず、4つの変化は見えた。それは、1)2012、2013年に来日した福清留学生は2008、2009年に来日した福清留学生より自分から中国への仕送り額が減少している、2)2012、2013年に来日した福清留学生は2008、2009年に来日した福清留学生より出席率が悪化し、勉強しなくなる、3)2012、2013年に来日した福清留学生は2008、2009年に来日した福清留学生より日本に長くいる予定のある人が減少している、4)2012、2013年に来日した福清留学生は2008、2009年に来日した福清留学生より中国での最終学歴が低下しているという。

次に、来日福清留学生の減少に影響する、「東日本大震災の影響」、「日本経済の悪化」、「中日関係（島をめぐる）の緊張」という3つの要因が明らかになった。そして、来日福清生留学生の減少は来日費用の下落に影響しており、来日費用の下落は「変化1 2012、2013年に来日した福清留学生は2008、2009年に来日した福清留学生より自分から中国への仕送り額が減少している」に影響があるとわかった。図3のように、第三回のインタビ

ューを通じて、「東日本大震災の影響」という要因の影響が最も大きくて、「日本経済の悪化」、「中日関係（島をめぐる）の緊張」という2つの影響が小さいと明らかになった。

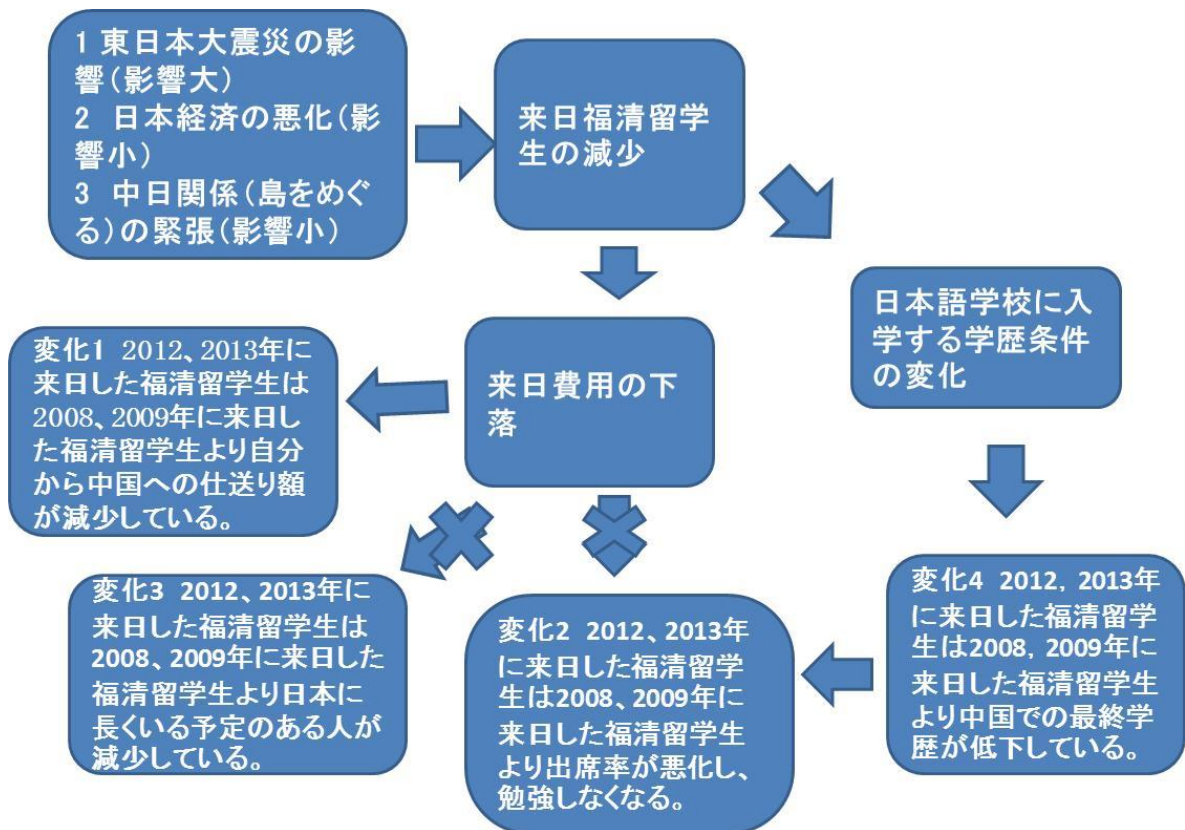


図3 福清留学生の変化及び変化に対する影響要因のモデル2

また、来日福清留学生の減少により、日本語学校側が入学申請の学歴条件を低くし、「変化4 2012、2013年に来日した福清留学生は2008、2009年に来日した福清留学生より中国での最終学歴が低下している」という変化が生じ、そして、変化4が「変化2 2012、2013年に来日した福清留学生は2008、2009年に来日した福清留学生より出席率が悪化し、勉強しなくなる」をもたらしたことがわかった。

おわりに

本稿では、2008、2009年に来日した福清留学生と2012、2013年に来日した福清留学生に対するインタビュー調査を通じて、福清留学生の現状に対する理解を深め、そして近年来日した福清留学生の変化及び変化に対する影響要因を明らかにすることを目的としてきた。

今後の課題として、もっと日本語学校の先生の意見を取り入れて福清留学生の変化及び変化に対する影響要因を考察することが挙げられる。やはり、日本語学校の先生は様々な地域の留学生と接しているので、先生の意見を取り入れることによって、福清留学生と他地域の留学生と比較することができる。そして、もう一つの課題として、福清留学生がど

のように周りの環境の影響を受けて行動するかをより力を入れて研究しなければならない。その理由は、友達やバイト先の職場などの周りの環境によって、自分がそれに影響を受け、行動も変わってくるのである。

日本では福清人を華僑として扱う研究が多いが、留学生として扱って研究することがまた多くない。最後に、より多くの研究者が福清留学生を研究することを願う。

注

1)平成22年7月以前、日本語学校で勉強する外国人の正式な在留資格が「就学」であり、それを経て、大学院・大学・専門学校などに進学すると、在留資格が「留学」に切り替える。平成22年7月1日以降、留学生の安定的な在留のため、在留資格「留学」と「就学」の区分をなくし、「留学」の在留資格へと一本化した(留国管理局ホームページ)。なお本稿では、全てを「留学生」と称する。

2)大専は中国で短期大学のようなものであり、教育期間が三年である。

3)中専は中国で高校にいけない中学校を卒業した人たちが行く専門学校のようなもので、教育機関が三年である。殆どの学校では最初の二年間が学校での授業、最後の一年間が外部での実習である。

4)2013年12月11日に筆者は電話で前述の日本語学校の先生に聞き取り調査をした。当先生は2008年にこの日本語学校に入社し、主に来日入学を希望する福清留学生の申請資料のチェックを担当し、そして入国管理局との関わりの多い仕事をしている。

5)高考は中国で実施されている大学などの入試システムであり、高校三回生だけが参加できるものではない。

参考文献

浅野慎一, 1997, 『日本で学ぶアジア系外国人—研修生・留学生・就学生の生活と文化変容—』大学教育出版。

福清人民政府, 2008, 「走進福清」, 福清人民政府ホームページ, (2013年11月27日取得, <http://www.fuqing.gov.cn/zjq/fqgk.htm>) .

甲南大学文学部社会学科, 2012, 「2-1-1質的調査とはどのような調査なのか」 社会調査工房オンライン (2013年12月9日取得, <http://kccn.konan-u.ac.jp/sociology/research/02/frame.html>).

「出国歴史悠久 福清様本—両輪移民潮の典型烙印」『経済観察報』, 2007年8月6日。

小木裕文, 2001, 「僑郷としての福清社会とそのネットワークに関する一考察」『立命館国際研究』14(1), 79-89.

——, 2009, 「華人ネットワークの変容」篠田武司・西口清勝・松下冽編『グローバル化とリージョナリズム:グローバル化の現代—現状と課題』御茶の水書房, 357-382.

王顕峰・周聿峨・阮征宇, 2004, 「福建省沿岸地区非法移民的成因分析」『亜太評論』東方文化交流出版中心, 43-46.

李国慶, 2004, 「在日福建省福清人の移住・生活・エスニシティ —国境を越える移住者の社会適応とネットワークの構築」『慶応義塾大学日吉紀要.言語・文化・コミュニケーション』(32)61-71, 2004.

留国管理局, 「平成20年度における出入国管理行政に係る主要な施策等」, 留国管理局ホームページ, (2013年12月4日取得, <http://www.moj.go.jp/content/000007327.pdf>).

——, 「平成22年度における出入国管理行政に係る主要な施策等」, 留国管理局ホームページ, (2013年12月4日取得, <http://www.moj.go.jp/content/000081959.pdf>).

施雪琴, 2000, 「改革開放以来福清僑郷の新移民—兼談非法移民問題」『華僑華人歴史研究』第4期, 26-27.

趙紅英, 2000, 「近一二十年中国大陸新移民若干問題的思考」『華僑華人歴史研究』, 7-9.

山下清海・小木裕文・松村公明・張貴明・杜国慶, 2010, 「福建省福清出身の在日新華僑とその僑郷」『地理空間』3(1), 1-23.

附表1 2008, 2009年に来日する福清留学生に対する調査内容

NO	名前	インタビュー日	性別	生まれ年	いつ来日	中国での最終学歴	留学理由	なぜ日本	なぜ大阪
1	A	2013年10月15日	男性	88	2008年4月	高校	行きたい大学がいけなくて、外を出て色々挑戦してみたい	高校の時に憧れたオーストラリアとイギリスには親戚がいないため、両親が心配する。日本には親戚がいて、そして、日本の大学がとてもいいと知っていた。	親戚が大阪にいる。
2	B	2013年10月15日	女性	89	2008年4月	大専中退	大学進学テストの成績が良くなって、いい大学いけなかった。両親は親戚の子供が海外で金を稼いで送りしてきたことを見て、自分にもお勧めできた。	当時日本に行くことがブームなので、両親のお勧めだった。	東京の競争は強い、大阪はちょうどいい。
3	C	2013年10月16日	女性	90	2009年4月	大専を合格したが、行ってなかった。	やりたいことがなかった、留学と言うことは完全に両親とか親戚に勧められた。	当時日本に行くことがブームなので、両親のお勧めだった。	手続きの会社では大阪が一番人気だったから。
4	D	2013年10月16日	男性	89	2008年4月	高校	中国でいい大学いけなかった。海外ではチャンスが多くて、儲けやすいと思う。	英語圏の国に関して、自分の英語が苦手。日本語では漢字も多いため、分かりやすい。	東京行くビザが降りにくい。
5	E	2013年10月16日	女性	87	2008年4月	高校	いい大学いけなくて、自分も外を出て、挑戦してみたい	当時日本に行くことがブームだった。	手続きの会社の人は大阪のほうがいいとお勧めできた。大阪に会社と直結する日本語学校があると。
NO	名前	インタビュー日	性別	生まれ年	いつ来日	中国での最終学歴	留学理由	なぜ日本	なぜ大阪
6	F	2013年10月18日	女性	88	2008年10月	高校(大専を合格したが、留学のため、行かなかった。)	一回目の大学受験失敗後、やはりどうしても大学行きたかったので、一年浪人して、もう一回大学受験を受けた。しかし、成績もあまりアップしていなかったため、丁度当時留学紹介所も家まで電話して来たし、そして、両親も賛成だったので、留学を選んだ。	その留学紹介所も日本向けだし、日本に自分の友達も多いから。	大阪行くの成功率が高い。そして、友達も殆ど大阪にいる。
7	G	2013年10月23日	女性	89	2008年4月	大専の合格通知書が来たが、大学に行かなかった。	元々自分が大学に行きたかったが、海外にいる従兄弟が留学したほうがいと勧めた。もう1人の従兄弟も自分と同じ警察専門のもっといい大学に入ったが、彼の話では今公務員になることがとても難しいと。自分は影響されて、留学を決めた。	親戚が日本にいる。	留学紹介所によると、東京のビザが降りにくいので、大阪にした。
8	H	2013年10月24日	男性	87	2008年4月	高校	中国でいい大学にいけなくて、姉も日本に留学したから。	姉が日本にいて、そして、日本の漢字と中国の漢字は似ている部分もあるの。	姉も大阪にいて、就職している。
9	I	2013年10月24日	男性	84	2009年4月	大専卒業、そして、二年間中国で就職していた。	就職していた所の待遇が良くなかったし、自分の友達も日本に留学していたし、そして、両親も応援してくれた。	親戚と友達が日本にいる。日本は留学とアルバイトを両立できる国だから。	留学紹介所によると、東京のビザが降りにくいので、大阪にした。
10	J	2013年10月28日	女性	89	2008年10月	高校(大学は合格したが、留学のため、行かなかった。)	自分は勉強があまり好きではないので、大学の勉強はまた高校のように辛いと想定したので、大学にあまり行きたくなかった。そして、当時、両親もよく喧嘩したので、自分はその環境から逃げたいと思った。です。留学を決めた。	自分の英語は苦手で、そして、二人の従兄弟が日本に来ているの。	従兄弟が大阪にいて、そして、大阪は東京よりビザが降りやすい。

NO	名前	日本語学校の時していたアルバイト	日本語学校の時一ヶ月収入	日本語学校の時一ヶ月支出	来日一年頃自分から中国への仕送り状況	来日費用(事前払った学費含み、最初に持ってきた生活費用を含まない)	両親の意思
1	A	魚工場と焼肉	18、19万円ぐらい(日本語学校二年目から毎月4.8万円の奨学金を一年間もらった)	8万円	70万円	16万円ぐらい(一年半の学費含み、借りる分があった)	自由に頑張ってほしい、外の世界を出て、色々なことを見てほしい。仕送りしろとか口にしたことがなかった。
2	B	中華料理店、韓国料理店、マクドナルド	16万円ぐらい	8万円	0	16万円ぐらい(一年半の学費含み、借りる分があった)	最初自分バイトがあまりなかった時、両親の焦りはやはりあった、もっと稼いでほしかったが、段々後になって、自分の力でちゃんと生活していけるだけでいい。たくさんバイトしなくていい。
3	C	ビル掃除、中華料理店、居酒屋、ホテル掃除	20万円ぐらい	6/7万円ぐらい	一年の時全然送ったことがなく、その後から仕送り始めた(来日して、朝のビル掃除の仕事一つだけで半年続いた)	16万円ぐらい(一年の学費含み、借りる分があった)	海外行って、活躍することを期待し、自分の最大の努力を尽くして、稼いでほしい。
4	D	マクドナルド、居酒屋、コンビニ	23万円ぐらい	6/7万円ぐらい	130万円	16万円ぐらい(一年の学費含み、借りる分がなかった)	勉強はアルバイトに邪魔されないでほしい。体が一番。将来日本で就職してほしい。
5	E	中華料理店、居酒屋、コンビニ	25万円	8万円	120万円	16万円ぐらい(一年半の学費含み、借りる分がなかった)	最初両親は反対だった、自分がちゃんと自分の世話をしているかに対して心配だった。たくさんアルバイトをしてもいい。
NO	名前	日本語学校の時していたアルバイト	一ヶ月収入	一ヶ月支出	来日一年頃自分から中国への仕送り状況	来日費用(事前払った学費含み、最初の生活費用を含まない)	両親の意思
6	F	串かつ店とコンビニ	20万円ぐらい	6万円ぐらい	60万円	16万円ぐらい(一年の学費含み、借りる分があった)	稼いでほしい。
7	G	日本語学校、一番多い時、半年間6つのバイトを同時にしていた	24万円ぐらい	5万円	110万円	16万円ぐらい(一年半の学費含み、借りる分があった)	とくになし。妹が1人いるけど、あまりしっかりしていないので、それに比べ、両親は自分のことをとても信用している。
8	H	韓国料理店と居酒屋	19万円	7万円	100万円	16万円ぐらい(一年半の学費含み、借りる分がなかった)	自分のことを信用し、バイトと勉強のバランスを自分で決めて。
9	I	料理店	9万円ぐらい	4万円	35万円	16万円ぐらい(一年の学費含み、借りる分がなかった)	両親は自分の勉強を応援してくれる。でも、時々両親も誰、誰が出国のお金全部返したよと自分に言い聞かした。
10	J	レストランの洗い場とホテルの掃除	19万円ぐらい	5万円	80万円	16万円ぐらい(一年の学費含み、借りる分があった)	勉強は自由に。仕送りに関しては、出国の費用を返せばいい。

NO	名前	日本語学校の時自分の勉強状況	日本語学校の時に考えた自分の将来	補足	自分の出国費用は高いと思うか？	出国費用が高いのに、なぜまた日本に？	あなたの出国費用は今の福清留学生と比べて、下落したが、なぜ下落したか？	なぜ来日の福清留学生の数が減少したか？
1	A	出席率がほぼ100%、家でも時間を使って勉強していた。	日本語学校卒業後、絶対大学に入りたくて、将来は就職ではなく、日本で起業したい。出来れば、長く日本で活躍したい。	日本にいる親戚が中国物産店をもっている。	高い。	高いけど、自分が中国でやることもないし。留学の価値が絶対あると信じた。	来日の福清留学生が減少したから。	日本経済の悪化により、アルバイトが見つけにくくなる。日本の大震災の影響、中日関係の緊張。
2	B	出席率がよくて、アルバイトをあまりしていなかった時に、家で勉強していたが、アルバイトをしたら、あまり家で勉強していなかった。	やはり直接大学行きたい。専門学校行っても、その後また大学やし。大学後、日本で就職し、中国に帰る考えがなかった。	日本語学校の時、仕事三つしていたが、途中で変わったりで、月収が少なかった。	高いかどうか、自分当時その感覚がなかった。		来日の福清留学生が減少したから。	日本経済の悪化、中日関係の悪化、大震災。
3	C	出席率がよく、朝ビル掃除の仕事が終わったら、早めに学校に行く勉強していた。	直接大学行きたい。専門学校行っても、自分の日本語能力あまり延びないと思うので、行くことが無駄だ。将来日本にいたい。中国のコロナ社会が好きではない。	短大を申し込みしたことは日本に来るビザが出やすいため。	高い。	日本で何とか稼いで返済できると思った。	来日の福清留学生が減少したから。	日本の大震災、中日関係の悪化。
4	D	出席率がよかった。アルバイトをあまりしなかった時、家で結構勉強する。たくさんはじめて、時間がなかった。	まず、専門学校行って、もう一回日本語能力をアップしてから、大学行く考えた。具体的に、日本にどのくらいいたいとか考えたことがなく、たつた、将来中国に帰って、自分の発展に必要なお金は日本です十分貯めておきたい。		高い。	日本でアルバイトをして、絶対返済できると思った。	来日の福清留学生が減少したから。	日本経済の悪化により、アルバイトを見つけるのが難しくなった。中国での金儲けも速くなった、大震災の影響。
5	E	満勤証ももらった。家で勉強しなかった。学校でちゃんと勉強する。	出来れば、大学行きたいと考えた。最悪の場合は専門学校。何年後とか中国に帰りたいと考えたことがなかった。日本にいたかった。	両親はあまりアルバイトをしなくていいと言っていたが、やはり自分は自分を証明したくて、たくさんバイトをしていた。	高い。	皆は一緒だから、あまり気にしない。	来日の福清留学生が減少したから。	中日関係の悪化、日本経済の悪化、地震による影響、中国の金持ちが増え、自分の子供たちを苦勞させたくない。
6	F	出席率が良かった。最初に全然勉強しなかった。その後先生が厳しくしてから、テスト前家でしっかり勉強するようになった。	自分の考えとして、より日本で長くバイトできるため、まず専門学校行って、その後大学へ。でも、友達に誘われて、一緒に大学受験に挑戦した。将来として、日本に対する好奇心はまたあるので、そして、お金のために、やはり日本に長く居たい。	日本に来て、アルバイトを見つけることなかなか難しかったので、一年ぐらいごろの仕送りが少なかった。	高い。	日本でアルバイトをして、絶対返済できると思った。	来日の福清留学生が減少したから。	日本経済の悪化、大震災、中国での金儲けも速くなった、1人子が増え、家族が苦勞させたくない。
7	G	出席率が良かった。最初バイトしていなかった三ヶ月間は家で勉強していたが、バイトをたくさん始めたら、全然勉強しなくなった。	アルバイトをするため、まず専門学校に行つて、その後、大学に、将来中国に帰る予定。母の体は悪いから、よこにいてあげたい。	今の気持ちでは出来れば、日本にずっといたい。	高い。	家族はお金のことで心配要らないと言ってくれた。	来日の福清留学生が減少したから。	大震災の影響、中日関係の悪化、中国の人たちの生活水準が上がった、中国の経済の発展。
8	H	出席率はとてもよかった。授業中だけ真面目に勉強していた。	直接大学に行きたい。時間が節約できるし。将来はやはりずっと日本で活躍したい。		高い。	日本でアルバイトをして、絶対返済できると思った。	来日の福清留学生が減少したから。	中国での金儲けも速くなった、日本経済の悪化。
9	I	一年目の出席率は100%だったが、二年目になって、自分の考えの変化により、80%になった。そして、勉強とバイト両方とも頑張らなくなった。	やはりいい大学に行きたかったので、まず専門学校に行って、自分のレベルをアップし、また大学を受験する。将来はやはりずっと日本にいたい。	一年間頑張った後、奨学金がもらえなかったことは自分にダメージを与えた。	高い。	日本でアルバイトをして、絶対返済できると思った。	来日の福清留学生が減少したから。	大震災の影響、中日関係の悪化、日本経済の悪化。
10	J	出席率はとてもよかったが、バイトをし始めたら、授業中は殆ど寝ていた。	大学に行きたかったが、合格できなくて、専門学校行つた。将来、出来れば日本にずっといたい。中国に帰っても、何も出来ないから。		高い。	日本でアルバイトをして、なんとなく返済できると思った。	来日の福清留学生が減少したから。	中日関係の悪化、地震による影響、円安、中国政府が来日人数を制限する。

NO	名前	地震がどのように来日福清留学生の数の減少に影響を与えたか？	もしあなたの来日費用が2012、2013年のと同じく低かったら、当時と比べて、あなたの来日後の行動や考えなどが変わるか？	もしあなたが日本に留学する前に、東北大地震があったとしたら、あなたはまた日本に留学するか？	もしあなたが日本に留学する前に、日本経済が既に悪化したら、あなたはまた日本に留学するか？	もしあなたが日本に留学する前に、中国と日本の関係が既に悪化したら、あなたはまた日本に留学するか？	もしあなたが日本に留学しなければ、どこにいて、何をしていたか？
1	A	中国のメディアの報道を見て、日本が危ないと思った。東京にいる福清留学生の多くが中国に帰った。それを知っていて、恐れて日本に留学しなくなかった。	プレッシャーが減り、そんなにアルバイトをしないと思う。そして、勉強はもちろん、他のサークル活動にももっと時間を使いたい。	来ないと思う。身の安全性はやはり第一位だ。	来る。自分にあまり影響がない。	来る。自分にあまり影響がない。	何か一つ専門技術を学んで、どこかの職に就くと思う。
2	B	家族が心配で、自分の子供を日本に行かせない。	全部変わらないと思う。自分があまりアルバイトしなかったのだから、費用が低くなっても、自分の行動や考えなどが変わらない。	日本に来ないと思う。家族も絶対行かせてもらえないし。	来る。当時の自分は絶対日本経済とかに関心がなかったから。	来る。当時の自分も中日関係に関心がなかったから。	大学を続ける。日本が安全になったら、また日本に。
3	C	日本にいる知り合いから地震の情報を得て、日本への留学を怯えた	あまり変わらないと思う。アルバイトに関して、自分がもともとアルバイトをみつけの時間がかり、今よりアルバイトの時間を少なくすることがない。	日本に来ないと思う。命はやはり大事だ。そして、家族も絶対行かせてもらえないし。	来ると思う。日本経済は自分にあまり影響がない。	来るかな。今まで中日関係悪化したり、よくなったり、よくなることなので、あまり気にしない。	中国で合格した大専に行く。
4	D	地震はずっと影響を持つわけではなく、2011と2012年ぐらいの来日しようと思う福清留學生だけに影響があると思う。	プレッシャーが減り、そんなにアルバイトをしないと思う。ほかは変わらないと思う。	来ないと思う。危ないから。二、三年後また行くかも。	来ないと思う。アルバイトが見つからないことが一番心配だ。	関係ない。来ると思う。	中国で何かの仕事に就くと思う。二つ目の選択肢として、オーストラリアに留学する。
5	E	中国のメディアの報道を見て、日本が危ないと思って、留学しなくなる。地震を体験した福清留學生たちが帰国して、自分の体験談を中国にいる人たちに伝えた。	気持ち的な負担が減ったが、仕事があれば、相変わらずやる。	来ないと思う。家族は行かせてもらえないと思う。	来ると思う。日本経済は自分に影響がない。	来ないと思う。自分が日本に行って、向こうでどうされるのが心配だ。	中国の大学に入ったと思う。
NO	名前	地震がどのように来日福清留学生の数の減少に影響を与えたか？	もしあなたの来日費用が2012、2013年のと同じく低かったら、当時と比べて、あなたの来日後の行動や考えなどが変わるか？	もしあなたが日本に留学する前に、東北大地震があったとしたら、あなたはまた日本に留学するか？	もしあなたが日本に留学する前に、日本経済が既に悪化したら、あなたはまた日本に留学するか？	もしあなたが日本に留学する前に、中国と日本の関係が既に悪化したら、あなたはまた日本に留学するか？	もしあなたが日本に留学しなければ、どこにいて、何をしていたか？
6	F	家族が心配で、自分の子供を日本に行かせない。そして、日本にいる知り合いから地震の情報を得て、日本への留学を怯えた。	プレッシャーが減り、アルバイトはそんなにしなくなると思う。そして、勉強にもっと時間を使う。当時事情により、日本語卒業後、自分もう中国に帰ったかも。	来ないと思う。命が一番だ。	来る可能性がある。	来る可能性がある。	中国の大学に入ったと思う。
7	G	中国のメディアの報道を見て、日本が危ないと思って、留学しなくなる。地震を体験した福清留學生たちが帰国して、自分の体験談を中国にいる人たちに伝えた。	プレッシャーが減り、アルバイトはそんなにしなくなると思う。そして、勉強にもっと時間を使う。	分からない。	分からない。	分からない。	従兄弟がいるシンガポールに行ったかも。
8	H		プレッシャーが減り、アルバイトはそんなにしなくなると思う。そして、勉強にもっと時間を使う。	来ると思う。安全な場所に行けばいい。	来ると思う。個人に影響あまりないと思う。	来ると思う。個人に影響あまりないと思う。	中国の大学に入ったと思う。
9	I	日本にいる知り合いから地震の情報を得て、日本への留学を怯えた	変わらないと思う。	来ないと思う。家族がきつと心配。	来ないと思う。行ってあまり稼げないことが心配。	来ないと思う。日本ではどうなるのが心配。	オーストラリアに留学したと思う。
10	J	家族がきつと心配で、生かせない。	プレッシャーが減り、アルバイトの時間は減ると思う。他のは変わらないと思う。	来ると思う。大阪は大丈夫だと思う。	来ないと思う。日本に行って、ちゃんと稼いでいけるのが心配。	来ると思う。個人にあまり影響がない。	中国の大学に入ったと思う。第二の選択肢として、従姉妹がいたアイルランドに行ったと思う。

附表2 2012, 2013年に来日する福清留学生に対する調査内容

NO	名前	インタビュー日	性別	生まれ年	いつ来日	中国での最終学歴	留学理由	なぜ日本	なぜ大阪
1	K	2013年7月7日	男性	93	2012年4月	中専	中国でやることなく、外を出たい。	日本の環境と人が好き。	東京に親戚がたくさんいるので、それと離れて、自分も自由に。地震のこと全然考えてなかった。
2	L	2013年6月30日	男性	92	2012年4月	中専	中国で自分が発揮する所がない。	日本で就職する従兄弟がいる。	その従兄弟は大阪にいる。
3	M	2013年7月8日	女性	91	2012年4月	高校	中国で自分の目標がない。	たくさんの親戚が日本にいる。	親戚たちは全部大阪にいる。
4	N	2013年7月19日	女性	92	2012年4月	高校	高校の時、自分はいい成績ではなかった。そして、大学に入っても将来はあまりよくならないと。	高校一回生の時、イギリスのビザが下りなかった。日本のビザが出やすい。経済発展しているし、環境がいいし。そして、日本に親戚が多い。	親戚は大阪にいる。
5	O	2013年7月7日	男性	92	2012年7月	中専	外を出て別の世界も見たい。	別の国は遠くて、怖い部分もある。従兄弟も日本にいる。	従兄弟が大阪にいて、お世話になれる。
6	P	2013年6月30日	男性	91	2012年10月	高校	行きたいレベルの大学がいけなくて、勉強を諦めて、留学を考え始めた。	イギリスとオーストラリアだと、自分の英語が苦手、そして、費用が高い。日本の費用が安い、親戚もいる。	大阪での親戚が多い。
NO	名前	インタビュー日	性別	生まれ年	いつ来日	中国での最終学歴	留学理由	なぜ日本	なぜ大阪
7	Q	2013年7月12日	女性	93	2012年10月	高校	外を出てみたい。	イギリスとアメリカも行きたいが、ビザが下りにくい。日本のほうは下りやすい。	東京競争が激しく、仕事が見つかりにくい。大阪に行ったら、日本語学校の先生もサポートしてくれると福清の仲介会社の人に言われた。
8	R	2013年10月9日	女性	92	2012年12月	大専中退	大学では勉強していたことは好きではなかった。そして、大学での毎日パソコンゲームと映画の生活もつまらなかった。その理由で大学を休学して、留学を選んだ。	最大の理由は従姉妹が日本にいるから、両親も安心できる。そして、日本の漢字もある程度読めるし、中国にも近いし。	従姉妹が大阪にいる。
9	S	2013年6月15日	女性	94	2013年4月	大学中退	中国の大学に入る前、元々留学したい。自分の高校の友達もオーストラリアに留学した。	元々オーストラリアの希望だったが、両親に反対された。	従姉妹の勧め。従姉妹は先に申請したが、許可が降りなかった。
10	T	2013年10月9日	男性	90	2013年4月	高校	自分が2009年高校卒業後、ずっと遊んでたので、何かしないといけないと思って、留学しようと思った。	母はマレーシアにいるけど、母にもマレーシアに来てと言われたが、やはり母がいるところに行きたくないの、他の親戚がいる日本に来た。	その親戚が大阪にいる。
11	U	2013年10月11日	男性	91	2013年4月	高校(高校二回生の時、卒業書証を確定してから、もう学校に行かなくなった。)	来日までは一年半中国でコックしていた。それを長くしても、いい将来がないと感じ、留学を考えていた。	親戚が日本にいるのと自分の英語が苦手。	親戚たちは全部大阪にいる。

NO	名前	アルバイト	一ヶ月収入	一ヶ月支出	自分から中国への仕送り状況	来日費用(事前払った学費含み、最初に持ってきた生活費用を含まない)	両親の意思
1	K	南京町の肉まんの店と中華料理店 夜は全然アルバイトしていない。	10万円	6万円	仕送ったことがない。	8万円(他所から借りる分はなかった)	お金は別に稼がなくても、いい生活を送ってほしい。
2	L	深夜の掃除と中華料	20万円	10万円	今まで40万円	8万円(借りるお金がなかった)	稼いでほしい。
3	M	弁当工場と百元ショップ	8万(自分ももっと稼ぎたい)	6万円	今まで30万円	8万円(借りる分があったが、どのくらい借りたか、自分も知らない)	もっと稼いでほしい。
4	N	掃除と肉工場	13万円	7.5万円	仕送ったことがない。	8万円(借りる分があった)	自分の力で生活していけたら、大丈夫。別に仕送らなくてもいい。
5	O	野菜工場、居酒屋、台湾料理店	17万円	7万円	今まで60万円	7.5万円(借りる分がなかった)	仕送ってほしい。でも、自分は勉強もしっかりしたいので、それについて、父にも相談した。反対されなかった。
6	P	野菜工場とキャベツ焼きの店	13万円	5万円	今まで30万円仕送った。今年8月100万円を仕送るつもりで、そのうち60万円が自分のもの。	7.5万円(2万円を他所から借りた)	やはり仕送ってほしい。
NO	名前	アルバイト	一ヶ月収入	一ヶ月支出	自分から中国への仕送り状況	来日費用(事前払った学費含み、最初の生活費用を含まない)	両親の意思
7	Q	王将と深夜の中華料	19万円	6.5万円	今まで110万円	8万円(借りる分があった)	仕送ってほしい。
8	R	深夜の工場	24万円	8万円	130万円	6.5万円(借りる分がなかった)	仕送りに関して、両親からのプレッシャーがなかった。何年後、帰ってほしい。
9	S	焼肉店と二つの居酒屋	15万円	6.5万円	来たばかりなので、まだ仕送ったことがない。	7万円(借りる分がなかった)	別に仕送らなくてもいいが、弟のために仕送ってほしい。
10	T	朝掃除の仕事(一ヶ月でやめた)と韓国料理店	6万円	6万円	仕送ったことがない。	7万円(借りる分がなかった)	仕送らなくていい。やはりマレーシアに来てほしい。
11	U	二つのラーメン屋でバイトをしている。	17万円	7万円	まだ仕送ったことがない。	7万円(借りる分があった)	ちゃんと自分が自分の力で日本で食べていけてほしい。出国費用を全部返す後、大学を目指してほしい。

NO	名前	自分の勉強状況	自分の将来	補足	自分の出国費用が少な いと思いますか？	なぜ5年前と比べて、出国費 用が下落したか？
1	K	真面目に勉強してない。	日本語学校後の進学は安いなら、どこでもいい。将来は日本で永住権を取りたい。		少ない	来日福清留學生が減少したから。
2	L	授業中は寝る、そして、よく遅刻していた。先生に言われた後、よくなった。そして、自分は大事な宿題だけをやる。	大学行きたくて、将来は日本で就職したい。出来なければ、中国に帰る。	中専を卒業の後、中国で一年間親戚のバイクパーツ店で勉強して、その後、日本に来た。日本では兄弟の会社の寮に住んでいる	少ない	日本円が安くなった、そして、中国の経済がよくなったから。
3	M	出席がいい、宿題は気持ち次第。	次の進路は留学生試験の成績によって、決める。自分はずっと日本にいる気持ちはない。出来れば、大学に入って、その後、一、二年日本で就職して、また中国の外資企業で働きたい。	自分のお兄さんがイギリスにいる。日本に来て、ずっと親戚の家に住んでいる。そして、自分はずっと稼ぎたいと思っても、なかなか見つからない。	少ない	来日福清留學生が減少したから。
4	N	出席率がいい。宿題はやらないのほうが多い。そろそろ試験になると、勉強し始める。	日本の大学に入って、終わったら、中国に帰って、自分の店を開く。	高校一年生の時、イギリスの留学を希望したが、ビザが降りなかった。	少ない	来日福清留學生が減少したから。
5	O	宿題をやる、わからないことを先生に聞く。主に単語を頑張ってる。	将来いい大学に入りたいから、今の能力では足りなくて、日本語学校後はまず厳しい専門学校に行きたい。将来日本で就職しても、結局中国に帰りたい。	今しているアルバイトは全て従兄弟の紹介だった。	少ない	来日福清留學生が減少したから。
6	P	宿題はやるが、家で本をあまり見ない。	いい私立大学に入りたい、中国と連携のある企業で就職して、中国で働きたい。	今では、お金を設けるなら、中国のほうがもっと速いと感じる。ですので、今の自分はずっとたくさんのお金を中国に仕送るのは無理だと。	少ない	来日福清留學生が減少したから。

NO	名前	自分の勉強状況	自分の将来	補足	自分の出国費用が少な いと思いますか？	なぜ5年前と比べて、出国費 用が減少したか？
7	Q	出席率は普通。家であまり勉強しないが、授業中できるだけ先生の話をしっかり聞く。	能力がまだ足りないで、まず日本語の専門学校に行ってから、大学へ。将来はずっと日本にいる気持がけない。	高校の時、留学先として、希望していたのはイギリス、アメリカ、日本だったが、高校の後は日本だけ。	少ない	来日福清留學生が減少したから。
8	R	出席率が90%ぐらい。深夜の仕事をしているので、家での時間はほぼ寝る。	日本語学校後の進路はまだ真面目に考えたことがなかった。将来的には自分も中国に帰って美容院をやりたい。	今は深夜の仕事をしているので、勉強が全然出来なくて、やはり今の仕事を変えたいという気持ちが強かった。でも、仕事を変えれば、次の仕事は安定な収入があるかどうか心配だった。	少ない	福清でそのような仲介屋が増えた。そして、日本にいる福清人が多くなって、日本に留学することが稀ではなくなったから。
9	S	出席率100%。今は毎回きちんと文法の予習をして、授業を望む。成績は非常にいい。	できれば、日本語学校の後、国公立の大学、そして、またオーストラリアへ。でも、日本でいい仕事ができたら、日本に居続けてもいい。	日本に来る前、中国での成績も結構優秀だった。	少ない	来日福清留學生が減少したから。
10	T	出席率が100%。勉強はあまりしない。	まだ日本語学校後の進路を考えてなかった。将来は中国に帰って、飲食店をやりたい。	今あまりたくさんアルバイトをしていなかったが、焦らない。日本では福清人が多いから、したいなら、すぐ見つかると思う。これからの学費は母が送ってくる。	少ない	来日福清留學生が減少したから。
11	U	仕事が増えた後、遅刻をするようになった。90%以上。	まだ日本語学校後の進路を考えてなかった。出来れば、ずっと日本で生活して行きたい。将来は日本で就職したい。	高校の卒業を確保した後、もう学校に行かなくなった。そして、中国で仕事を始めた(スーパーとコック)。	少ない	来日福清留學生が減少したから。

NO	名前	なぜ来日の福清留学生の数が減少したか？	地震がどのように来日福清留学生の数の減少に影響を与えたか？	もしあなたの来日費用が2008、2009年の留学生たちと一緒にすれば、また日本に留学するか？	もしあなたは高い費用で留学するとしたら、現在と比べてあなたの来日後の行動や考え方が変わるか？	もしあなたが日本に留学しなければ、どこにいて、何をしていた？
1	K	日本経済の悪化、大震災の影響。	地震を体験した福清留學生が帰国し、自分の体験談を中国にいる人たちに伝えて、みんなが日本に留学しなくなる。	来ると思う。	アルバイトは今より増えるが、たくさんは無理だ。	中国で何かの職に就くと思う。
2	L			来ないと思う。返済のプレッシャーが大きすぎるから。	今よりもっとアルバイトをする。それで、疲れて、出席率に関して、今より悪くなると思う。	中国で何か専門的な技術を勉強し、仕事に就くと思う。
3	M	日本の経済が悪化、東北の大震災の影響、中国のお金持ちが増えた、中国で1人子が増えて、親は苦労させたくない。	大震災によって、日本の経済が悪化し、みんながそれを知って、日本に行っても、儲けれないと思うかも。	来ないと思う。返済のプレッシャーが大きすぎるから。	今よりもっとアルバイトをする。出席率は今と変わらないと思う。でも今が考えるよりもっと日本にいるかも。	お兄さんがいるイギリスに行くか、中国で仕事に就くか。
4	N	日本の大震災により影響、円安、中国の金持ちが増えた。	東京にいる福清留學生の多くが中国に帰った。それを知っていて、恐れて日本に留学しなくなかった。	来ないと思う。返済のプレッシャーが大きすぎるから。	アルバイトも今と変わらない。今の以上はしんどい、無理だ。もっと日本にいるかも。	中国の大学に行く。
5	O	日本の大震災の影響、日本経済の悪化、中日関係の悪化、中国経済の発展。	地震を体験した福清留學生が帰国し、自分の体験談を中国にいる人たちに伝えて、みんなが日本に留学しなくなる。	来ないと思う。返済のプレッシャーが大きすぎるから。	アルバイトはもっとすると思う。それで、出席率が今より悪くなる、きつと。	中国のどこかで仕事に就くと思う。
6	P	中日関係の悪化、中国での金儲けも速くなった、他の国も行きやすくなった、1人子が増えて、親は苦労させたくない。		来ないと思う。返済のプレッシャーが大きすぎるから。	アルバイトはもっとすると思う。それで、出席率が今より悪くなる。	イギリスに行く。
NO	名前	なぜ来日の福清留学生の数が減少したか？	地震がどのように来日福清留学生の数の減少に影響を与えたか？	もしあなたの来日費用が2008、2009年の留学生たちと一緒にすれば、また日本に留学するか？	もしあなたは高い費用で留学するとしたら、現在と比べてあなたの来日後の行動や考え方が変わるか？	もしあなたが日本に留学しなければ、どこにいて、何をしていた？
7	Q	中国経済の発展、中日関係の悪化、中国のお金持ちが増え、自分の子供を苦労させたくない、大震災の影響。	日本にいる知り合いから地震の情報を得て、日本への留学を怯えた。	来ないと思う。返済のプレッシャーが大きすぎるから。	アルバイトをもっとすると思う。出席率は変わらないかな。モットに日本にいるかも。	イギリスに留学する。
8	R			来ないと思う。返済のプレッシャーが大き過ぎ、そして、自分が返済し終わったら、自分の年齢も上になったから、結局何も出来なかった。	アルバイトはもっとする。他は変わらない。	大学に戻って、勉強する。
9	S	日本の大震災の影響、日本経済の悪化、中日関係の悪化、。	家族が心配で、子供を行かせない。そして、自分も中国のメディアの報道を見て、危ないと思う。	また来る。日本に来る価値があるから、ここで自分がやりたいことがあるから。	アルバイトはもっとする。他は変わらない。	中国の大学の勉強を続ける。
10	T	日本経済の悪化、地震の影響、中国での金儲けも速くなった、中日関係の悪化。	日本にいる知り合いから地震の情報を得て、日本への留学を怯えた。自分が気にしなくても、家族が心配で行かせない。	来ないと思う。返済のプレッシャーが大きい。	アルバイトは今より多くする。他は変わらない。	中国で飲食店をやりたい。
11	U	東北大震災の影響、日本経済が悪くなった、中日関係の悪化、中国経済の発展。	中国のメディアの報道を見て、日本が危ないと思った。	自分は迷うと思う。返済が難しくなるけど、自分が中国にいても、よい将来があると思わないし。	今よりもっとアルバイトをする。返済のプレッシャーが大きくなったから。出席率に関して、今より悪くなると思う。	中国でコックの仕事をし続けていると思う。